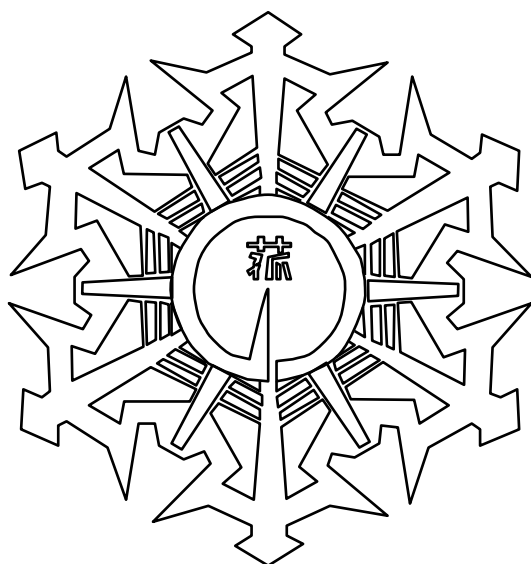


消防年報

40周年記念号



三重県
菰野町消防本部
(令和7年版)

は じ め に

本書は、菰野町消防本部発足 40 周年を記念して当町の消防諸般の状況を記録し、将来の消防行政運営上の指針とするため編集しました。

なお、統計資料のうち 40 周年の記録以外の項につきましては特に記載のあるものを除き、令和 6 年中をもって表しました。

令和 7 年 8 月

三重県 こも の ちょう 菰野町 消防本部

菰野町消防本部創立 40 周年を迎えて



菰 野 町 長

諸 岡 高 幸

この度、菰野町消防本部が昭和 60 年に発足以来、創立 40 周年という大きな節目を迎えましたが、長きにわたり消防行政にご理解とご協力を賜りました皆様方に、心より厚く感謝を申し上げます。

この間、火災・救急・救助活動はもとより、風水害や地震などの自然災害への備えなど地域防災力の向上を図るため、消防本部並びに消防団の組織体制及び消防施設等の整備充実を進めてまいりました。

菰野町は、鈴鹿山脈の豊かな自然に抱かれ、四季折々の風景や湯の山温泉を中心とした観光地としての魅力にもあふれ、また、東名阪自動車道や新名神高速道路といった広域交通網へのアクセスにも恵まれており、毎年多くの観光客が訪れています。このような多様な魅力を有する菰野町において、町民はもとより、来訪される皆様の安全・安心を守るためには、消防体制のさらなる充実が不可欠であると認識しております。

今後、急激な高齢化社会の進展により、消防・救急需要が高まることが考えられ、さらに気候変動の影響等による自然災害の頻発化・激甚化が危惧されることから、一層、消防力の強化を図り、災害に強い持続可能な地域社会の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので今後とも皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

40 周年記念号の発刊にあたり



菰野町消防長

瀧 見 浩 志

この度、菰野町消防本部・消防署は、昭和 60 年 4 月の発足以降、令和 7 年をもって創立 40 年の節目を迎えることとなりました。消防関係諸先輩のご尽力はもとより、町民の皆様の深いご理解とご支援の賜物であることに、心より感謝申し上げます。

この 10 年を振り返っても、平成 28 年の新潟県糸魚川市における市街地大規模火災、平成 30 年の西日本豪雨、令和 6 年の能登半島地震など、各地で甚大な災害が発生しました。また、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、人々の生活様式も大きく変化し、私たち消防も現場活動や組織体制の見直しを迫られ、感染症対応力の強化が喫緊の課題となりました。

こうした社会情勢や災害リスクの変化を的確に捉えながら、菰野町消防本部・消防署においては、これまで消防通信指令業務の共同運用や、新名神高速道路菰野インターチェンジの開通に伴う救急隊の増隊など、他消防本部との連携協力並びに体制の整備と機能の強化を進めてまいりました。

今後は、高齢化の進展に伴う救急需要の増加や、自然災害の頻発化・激甚化、新たな感染症の発生など、多様なリスクへの備えが求められる時代が予想されます。このような中、40 年の歴史の中で培われた教訓と、全国の事例から得られる知見を活かし、町民の命と暮らしを守るため、より強靱な消防体制の構築に向けて全力を尽くしてまいりますので、今後とも、皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

目 次

40 年 の 記 録

菰野消防のあゆみ	1
歴代消防長	5
1985~2024 年表	6
職員数及び平均年齢の推移	20
一般会計予算に占める消防費の割合の推移	21
管内人口の推移	22
消火栓数の推移	23
防火対象物数の推移	24
危険物施設数の推移	25
火災（種別）件数の推移	26
火災（地区別）件数の推移	27
救急出動件数の推移	28
救助出動件数の推移	29
災害件数の推移	30

消 防 情 勢

菰野町の概要、位置図	31
令和 6 年中の主な行事	32
消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌	33
消防予算（当初額）	34
一般会計予算に占める消防費の割合（当初額）	
消防費に対する人口、世帯当り額	
消防力の整備指針と現有消防力の比較	35
職員階級別、所属別配置状況	36
職員階級別勤続年数状況	
職員階級別年齢状況	37
消防本部（署）庁舎の概要	38
現有消防車両	
通信施設状況	39
消防水利状況	40
各種研修実施状況	
外部研修等派遣状況	41
応急手当普及啓発活動実施状況	42
自主防災組織	43
緊急避難所	44
風水害時における緊急避難所を補完する施設	45
収容避難所	
収容避難所を補完する施設	46

消 防 団

菰野町消防団の沿革	47
歴代消防団長（合併以降）	
消防団の機構、団員数	48
年齢別、階級別消防団員数	49
在職年数別消防団員数	
消防団員報酬	
消防団員出動報酬	
消防団員職業別構成数	50
消防団消防車両配置状況	

予 防

防火対象物現況	51
用途別建築同意状況	52
工事別建築同意状況	53
過去 5 年間の建築同意状況	
危険物施設現況	54
危険物施設許可認可状況	
各種届出処理状況	55
消防用設備等設置検査実施状況	
広報、啓発活動状況	56

火 災

火災事案発生状況	57
過去 5 年間の火災事案発生状況	
地区別火災発生状況	58
月別火災発生状況	
曜日別火災発生状況	
時間別火災発生状況	59
火災出動状況	
火災出動区分詳細	
絵で見る火災原因（11 件）	60
全国の主な出火原因（上位 10 位）	

救 急、救 助

救急事案発生状況	61
過去 5 年間の救急事案発生状況	

事故種別救急出動件数、搬送人員	62
現場到着所要時間別救急出動件数（覚知～現場到着）	
収容所要時間別救急搬送人員（覚知～医療機関到着）	
年齢区分別救急搬送人員	63
傷病程度別救急搬送人員	
地区別救急出動件数	
月別救急出動状況	64
曜日別救急出動状況	
時間別救急出動状況	
年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員	65
事故種別、年齢区分別救急搬送人員	
事故種別、傷病程度別救急搬送人員	
事故種別、時間別救急出動件数	66
事故種別、応急処置件数	
事故種別、医療機関別救急搬送人員	67
救助事案発生状況	68
過去 5 年間の救助事案発生状況	
事故種別、救助出動件数、救助人員	69
事故種別、救助出動人員	
事故種別、救助出動車両	
地区別救助出動状況	70
月別救助出動状況	
曜日別救助出動状況	
時間別救助出動状況	
過去 5 年間の山岳救助事案発生状況	71
山岳救助発生場所	
年代別山岳救助発生状況	
月別山岳救助出動状況	72
曜日別山岳救助出動状況	
時間別山岳救助出動状況	

気 象、通 信

月別気象状況と火災件数	73
月別気温状況	74
月別降水量状況	
月別湿度状況	75
月別風速状況	
気象通報受信状況	76
三重北消防指令センター119 番通報受付取扱状況	77
菰野町消防本部管内月別 119 番通報受付取扱状況	
菰野町消防本部管内回線別 119 番通報受付取扱状況	

40年の記録



菰野町消防本部は、昭和 60 年の発足から 40 年を迎えました。
これまでの出来事を振り返ります。

菰野消防のあゆみ

明治27年（1894）

消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。

昭和3年（1928）

町制施行により菰野村が菰野町となる。

昭和14年（1939）

警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。

昭和23年（1948）

消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。

昭和30年（1955）

4. 町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。

昭和31年（1956）

9. 菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。

昭和32年（1957）

1. 菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数159名）に統一され菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。

昭和41年（1966）

7. 湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。

昭和43年（1968）

1. 菰野町役場に本部班が設置される。

昭和58年（1983）

4. 本部班が本部分団となり、全7分団となる。
7. 三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置。

昭和59年（1984）

3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定（内定）を受ける。
7. 三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
7. 19 消防庁舎建設工事着工
8. 24 日本消防協会より救急車（2B型）の寄贈を受ける。
10. 21 役場庁舎において救急業務開始（総務課消防防災係16名）

昭和60年（1985）

1. 31 消防庁舎完成（コミュニティ防災センターを併設）
2. 14 消防庁舎において試行業務開始
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部・消防署発足**
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。
定数31名 車両 5台
4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式

昭和61年（1986）

3. 25 ポンプ車（CD-Ⅰ型）購入
11. 19 普通貨物自動車（4WD）購入

昭和62年（1987）

- 2. 26 はしご車（30m級）購入
- 10. 14 （社）日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
- 10. 28 広報車購入

昭和63年（1988）

- 4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成元年（1989）

- 1. 24 救急車（2B型）購入
- 4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年（1990）

- 8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 10. 12 全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。

平成4年（1992）

- 4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成5年（1993）

- 12. 24 訓練塔敷地造成工事開始
- 10. 6 菰野町の婦人消防隊が全国婦人消防操法大会に出場する。

平成6年（1994）

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 10. 13 全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。

平成7年（1995）

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水-ⅠA型）購入
- 3. 18 訓練塔竣工式
- 12. 22 消毒室完成

平成8年（1996）

- 3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入
- 12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数40名）

平成9年（1997）

- 2. 14 第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始
- 5. 15 救急救命士が誕生
- 8. 8 三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。

平成10年（1998）

- 2. 4 ポンプ車（CD-I型）購入
- 4. 1 救急救命士業務の運用開始
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始
- 11. 24 積載車（4WD）購入

平成11年（1999）

- 1. 21 広報車購入
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場する。

平成12年（2000）

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成13年（2001）

- 3. 7 高規格救急車購入
- 3. 10 新通信指令室の運用開始

平成14年（2002）

- 4. 1 消防職員服制改正

平成15年（2003）

- 8. 27 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成16年（2004）

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣（3年間）
- 9. 3～4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施

平成17年（2005）

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了
- 8. 8 携帯119番直接受信開始
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結

平成18年（2006）

- 2. 22 高規格救急車購入
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 7. 22 三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。

平成19年（2007）

- 1. 30 水槽付ポンプ車（水-IA型）購入
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成20年（2008）

- 3. 14 救助工作車購入
- 3～9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 12 指揮車購入

平成21年（2009）

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 8. 1 Eメール119番通報の運用開始
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号が完成

平成22年（2010）

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 12. 2 高規格救急車購入

平成23年（2011）

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結

平成24年（2012）

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 4. 13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入
- 12. 27 広報車購入

平成25年（2013）

- 8. 21 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 11. 18 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成26年（2014）

- 3. 24 はしご車（30m級）購入
- 11. 8 全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
- 12. 5 ポンプ車（CD- I 型CAFS付）購入

平成27年（2015）

- 1. 31 資機材搬送車購入
- 4. 1 救命サポート事業所認定制度開始
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数58名）
- 8. 26 消防支援隊発足（35名）
- 11. 26 高規格救急車購入

平成28年（2016）

- 4. 1 三重北消防指令センター運用開始
- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)
- 7. 26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成29年（2017）

- 3. 8 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 11. 28 高規格救急車購入

平成30年（2018）

- 3. 7 消防庁長官表彰功労章を受章する。
- 6. 1 三重北消防指令センターにて多言語三者間同時通訳システム運用開始

令和元年（2019）

- 1. 31 三重県内高速道路等における消防相互応援協定を締結
- 8. 24 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 10. 1 三重北消防指令センターにてNet119緊急通報システム運用開始

令和2年（2020）

- 2. 28 小型動力ポンプ付水槽車（Ⅰ型）購入
- 3. 4 消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。
- 3. 15 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。

令和3年（2021）

- 3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 5. 19 患者等搬送事業認定制度開始
- 7. 20 三重北消防指令センターにて119番映像通報システム運用開始

令和4年（2022）

- 1. 11 水槽付ポンプ車（Ⅱ型）購入
- 3. 2 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 7. 30 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 26 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

令和5年（2023）

- 3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣（3年間）

令和6年（2024）

- 3. 8 高規格救急車購入
- 7. 21 三重県消防操法大会に千種分団が出場し、3位入賞する。
- 8. 1 救急情報伝送システム運用開始

歴代消防長

初代 大倉 二郎	自 昭和60年 4月 1日	至 昭和61年 3月31日
二代 田邊 正男	自 昭和61年 4月 1日	至 平成 3年 3月31日
三代 藤田 徹	自 平成 3年 4月 1日	至 平成 7年 3月31日
四代 石原 俊秀	自 平成 7年 4月 1日	至 平成11年 3月31日
五代 内田 芳隆	自 平成11年 4月 1日	至 平成13年 3月31日
六代 金津 正義	自 平成13年 4月 1日	至 平成16年 3月31日
七代 秦 隆	自 平成16年 4月 1日	至 平成18年 4月27日
八代 増田 幸生	自 平成18年 5月 1日	至 平成19年 3月31日
九代 川嶋 正典	自 平成19年 4月 1日	至 平成21年 3月31日
十代 内田 眞伸	自 平成21年 4月 1日	至 平成25年 3月31日
十一代 白木 康裕	自 平成25年 4月 1日	至 平成30年 3月31日
十二代 吉川 澄	自 平成30年 4月 1日	至 令和 3年 3月31日
十三代 山本 正春	自 令和 3年 4月 1日	至 令和 7年 3月31日
十四代 瀧見 浩志	自 令和 7年 4月 1日	現在に至る

1985~2024 年表

1985
昭和60年

消防庁舎完成

菰野町消防本部、消防署が発足し職員31名、車両5台で業務を開始



1986
昭和61年

■2月11日 静岡県熱川温泉火災 死者24名

1987
昭和62年

■6月6日 東京都老人ホーム（松寿園）火災 死者17名

はしご車（30m）配備

（社）日本損害保険協会より救助工作車寄贈



菰野町防火協会設立に伴い火災予防活動に一役



1990
平成2年

■3月18日 長崎屋尼崎店火災 死者15名

□菰野町 秋雨前線による集中豪雨及び台風19号

9月17日～9月19日：総雨量192mm、最大風速36.3m

被害状況：負傷者なし、床下浸水等3棟、河川等損壊15箇所

全国消防操法大会に朝上分団が出場

三重県消防操法大会にて優勝、全国消防操法大会に出場し優良賞を獲得



1991
平成3年

■6月3日 雲仙普賢岳火砕流災害 死者43名

□菰野町 集中豪雨

8月11日 19時00分～22時00分：3時間雨量135mm

被害状況：負傷者なし、床上浸水等74戸、河川等損壊95箇所

■10月16日 富士石油袖ヶ浦製油所爆発火災 死者10名

1993
平成5年

■7月12日 北海道南西沖地震「奥尻島地震・津波」

三重県防災ヘリコプター運行開始に伴う合同訓練

三重県防災ヘリコプターと応援協定が締結され、山岳救助活動を主とした連携訓練を実施



全国婦人消防操法大会に菰野町婦人消防隊が出場

菰野町の婦人消防隊が三重県を代表し、全国婦人消防操法大会に出場



1994
平成6年

普通救命講習会開始

応急手当の普及、救命率の向上を目的に普通救命講習会を開始



全国消防操法大会に菰野分団が出場

三重県消防操法大会にて優勝、全国消防操法大会に出場し敢闘賞を獲得



1995
平成7年

■1月17日 兵庫県南部地震「阪神・淡路大震災」 阪神・淡路大震災応援出動

1月17日早朝に発生したこの地震は兵庫県を中心に大きな被害があり、当町は翌18日から神戸市に人命救助、消火活動のため6名を派遣



■3月20日 地下鉄サリン事件

訓練塔竣工

火災、救助等様々な想定の実訓練を行うため、4階建鉄筋コンクリート造の訓練塔を竣工



菰野町 強い冬型の気圧配置（クリスマス寒波）

12月24日～12月26日：積雪60cm～70cm、御在所岳山上200cm

被害状況：雪の影響によると思われる交通事故等による負傷者7名
カーポート等が雪の重さで破損94件

1996

平成8年

（社）日本損害保険協会より高規格救急車寄贈



1997

平成9年

菰野町消防団に特別表彰「まとい」を受章

菰野町消防団はこれまでの災害活動、訓練実績が評価され、第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章



1998
平成10年

□菰野町 台風7号（伊勢湾台風以来の「風」台風）

9月22日：最大瞬間風速42m/s

被害状況：負傷者2名、被害住宅等4197件

救急救命士による救急業務開始

救急救命士の資格を取得した職員が平成10年4月1日より救急車に乗車し、高度な救命処置を開始



2001
平成13年

通信指令室更新

当時、発信地表示システム等の最新システムの導入により現場特定時間の短縮、また機械化されることで業務の効率化を図る。



■5月5日 千葉県四街道市作業員宿舍火災 死者11名

■9月1日 新宿歌舞伎町雑居ビル火災 死者44名

2003
平成15年

■4月11日 鹿児島市花火工場爆発火災 死者10名

■9月26日 十勝沖地震（ナフサ貯蔵タンク火災）

2004
平成16年

□菰野町 台風18号

9月5日 17時00分～20時00分：3時間雨量335mm（湯の山）

被害状況：負傷者なし、旅館等に土砂流入4件、床下浸水10箇所、土砂崩れ13箇所

■10月23日 新潟県中越地震

菰野町での緊急消防援助隊合同訓練

消防本部庁舎前において三重県下消防本部が集結し野営訓練を実施



2006
平成18年

住宅用火災警報器の設置義務化

菰野町火災予防条例の一部改正が行われ、住宅用火災警報器の設置が義務化



2008
平成20年

救助工作車更新



■6月24日 岩手・宮城内陸地震

□菰野町 集中豪雨

9月2日 13時00分～14時00分：1時間雨量126mm（朝明キャンプ場）

被害状況：負傷者なし、住宅一部損壊4棟、道路被害17件



■10月1日 大阪個室ビデオ店放火火災 死者16名

■3月20日 群馬県老人ホーム火災（静養ホームたまゆら） 死者10名

2009
平成21年

2010
平成22年

□菰野町 集中豪雨

8月9日 6時00分～7時00分：1時間雨量90mm（県民の森）
被害状況：負傷者なし、床上浸水等24件、道路被害等14件

2011
平成23年

■3月11日 東北地方太平洋沖地震「東日本大震災」

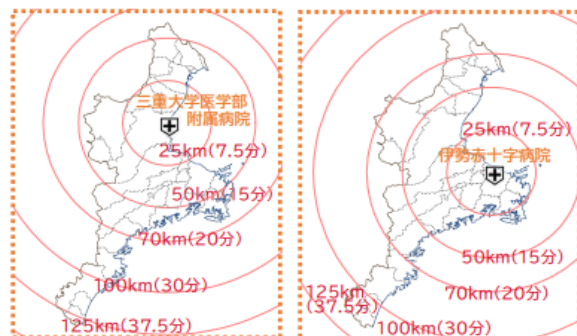
東日本大震災緊急消防援助隊三重県隊として出動

平成23年3月11日大規模な地震により東北地方で大きな被害が発生し、当町から人命救助活動のため県内各消防本部と合同で千葉県及び宮城県へ救急隊6名を派遣



2012
平成24年

三重県ドクターヘリ運航開始



2013
平成25年

■10月11日 福岡市整形外科医院火災 死者10名

2014
平成26年

はしご車（30m）更新



■8月20日 平成26年8月豪雨による広島市土砂災害

■9月27日 御嶽山噴火災害

全国消防操法大会に朝上分団が出場

三重県消防操法大会にて優勝、全国消防操法大会に出場し敢闘賞を獲得



ポンプ車更新



2015
平成27年

救命サポート事業所認定制度開始

認定事業所周辺で発生した呼吸や心臓が止まった傷病者に対して、早期にAEDを使用した心肺蘇生法を開始することで救命率の向上を図ることを目的とした救命サポート事業所認定制度を開始



菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数58名）

菰野町消防本部、消防署職員46名、車両10台にて消防業務を対応



■5月17日 川崎市簡易宿泊所火災 死者11名

■9月10日 平成27年9月関東・東北豪雨

消防支援隊発足

災害発生時に町民の被害を軽減し、安全な町民生活を確保するため、消防職員を退職した方、消防団を退団した方の知識と経験を生かして、消防本部・消防署が行う消防活動を支援することを目的とした消防支援隊を発足



三重北消防指令センター共同運用開始

消防通信指令事務（119番通報受付、消防車や救急車の出動指令、消防無線統制等）を菰野町消防本部、四日市市消防本部並びに桑名市消防本部の3消防において三重北消防指令センターとして共同運用を開始



■4月14日 熊本地震

G7伊勢志摩サミット消防特別警戒に派遣

5月26日、27日にG7伊勢志摩サミットが開催され、警戒部隊救急隊として派遣し、2交代24時間体制で警戒活動を実施



■8月31日 平成28年台風10号による災害

2016
平成28年

2017
平成29年

■12月22日 糸魚川市大規模火災

■2月16日 アスクル基幹物流センター火災

■7月5日 九州北部豪雨

2018
平成30年

■1月31日 札幌市自立支援住宅（そしあるハイム）火災 死者11名

合同山岳救助訓練

平成30年度全国高等学校総合体育大会登山大会の地元開催に備え、関係機関との合同山岳救助訓練を実施



■6月28日 平成30年7月豪雨「西日本豪雨」
西日本豪雨緊急消防援助隊三重県隊として出動

西日本を中心によく多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、消防庁長官から出動の指示を受ける。



■9月6日 北海道胆振東部地震

三重県内高速道路消防連絡協議会総合訓練

新名神高速自動車国道開通に備えた三重県内高速道路消防連絡協議会総合訓練を実施



2019
平成31年
令和元年

3月17日 新名神高速道路（菰野IC）開通



■7月18日 京都アニメーション放火殺人事件 死者36名

□菰野町 集中豪雨 「レベル5災害発生情報」発令

9月6日 0時00分～1時00分：1時間雨量111mm（切畑配水池）

被害状況：負傷者なし、床上浸水6件、道路被害等9件

■10月13日 令和元年東日本台風

Net119緊急通報システム運用開始

三重北消防指令センターにおいて、聞くことや話すことに不安がある方を対象に、携帯電話やスマートフォンのインターネットを利用して119番通報が出来るNet119緊急通報システム運用を開始



2020
令和2年

新型コロナウイルス感染症世界的な大流行

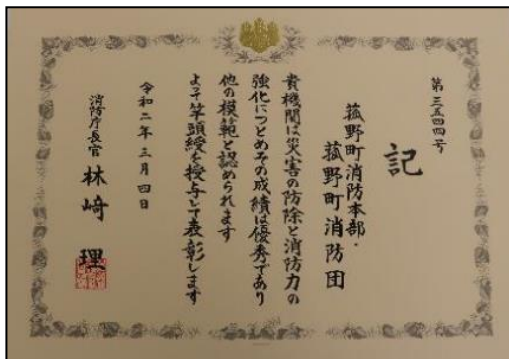
■7月3日 令和2年7月豪雨（熊本・長野）

小型動力ポンプ付水槽車配備



消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章

消防団活動の功労や功績に対し、消防功労者消防庁長官表彰にて竿頭綬を受章



2021

令和3年

ドローン運用開始

カメラ機能やサーモグラフィー装置を利用し、災害事案で上空からの様々な情報を得ることを目的にドローンを配備



患者等搬送事業認定制度開始

救急車を呼ぶほど「緊急性がない」場合の通院等への送迎に際し、ストレッチャーや車椅子で移動が必要な場合、菰野町内に所在する患者等搬送業務を行う事業者のうち、一定の基準に適合した事業者に対して認定する患者等搬送事業認定制度を開始



119番映像通報システム運用開始

三重北消防指令センターにおいて、スマートフォンを活用して音声に加えて災害現場や傷病者の状況を映像で119番通報することができる119番映像通報システム運用を開始



■12月17日 北新地ビル放火殺人事件 死者27名

水槽付ポンプ車更新



菰野町民総ぐるみ総合防災訓練実施

新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行後、4年ぶりの菰野町民総ぐるみ総合防災訓練を実施



2024
令和6年

■1月1日 令和6年能登半島地震

令和6年能登半島地震緊急消防援助隊三重県隊として出動

令和6年1月1日大規模な地震により能登半島で大きな被害が発生し、当町から後方支援のため県内各消防本部と合同で輪島市へ延べ12名を派遣



高規格救急車更新

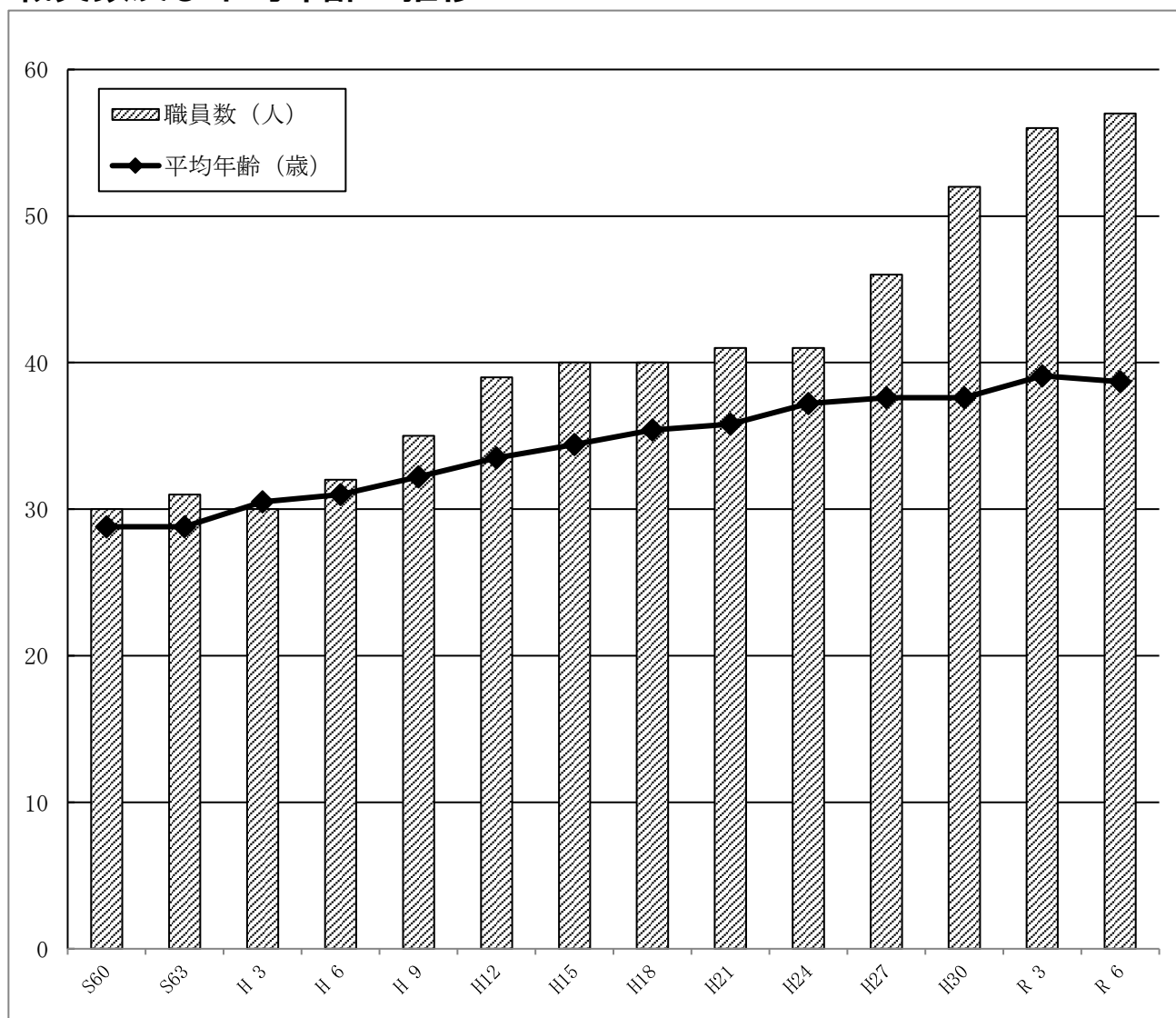


救急情報伝送システム運用開始

救急隊が傷病者を観察した情報や外傷等の身体所見を搬送先医療機関に映像で伝送する救急情報伝送システム運用を開始



職員数及び平均年齢の推移



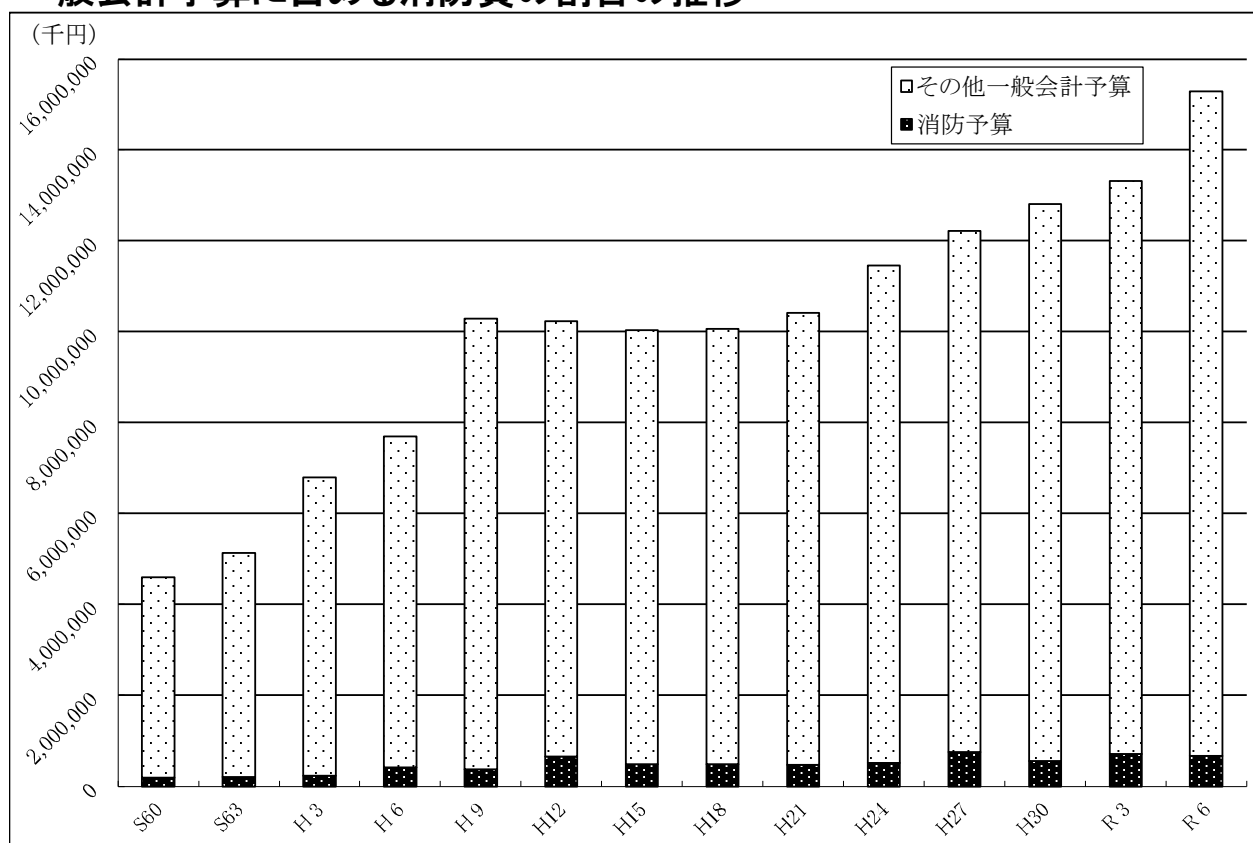
区分 \ 年度	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
職員数(人)	30	30	31	31	31	30	30	30	30	32
平均年齢(歳)	28.8	28.3	28.4	28.8	29.6	29.9	30.5	30.9	31.6	31

区分 \ 年度	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
職員数(人)	32	33	35	37	39	39	40	40	40	40
平均年齢(歳)	31.1	32.1	32.2	32.6	32.7	33.5	33.4	33.9	34.4	34.4

区分 \ 年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
職員数(人)	40	40	40	40	41	41	41	41	43	44
平均年齢(歳)	35.4	35.4	35.7	36.2	35.8	36.2	36.2	37.2	36.4	36.1

区分 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
職員数(人)	46	49	51	52	52	56	56	57	56	57
平均年齢(歳)	37.6	37.8	38.2	37.6	38.6	39.5	39.1	38.8	38.1	38.7

一般会計予算に占める消防費の割合の推移



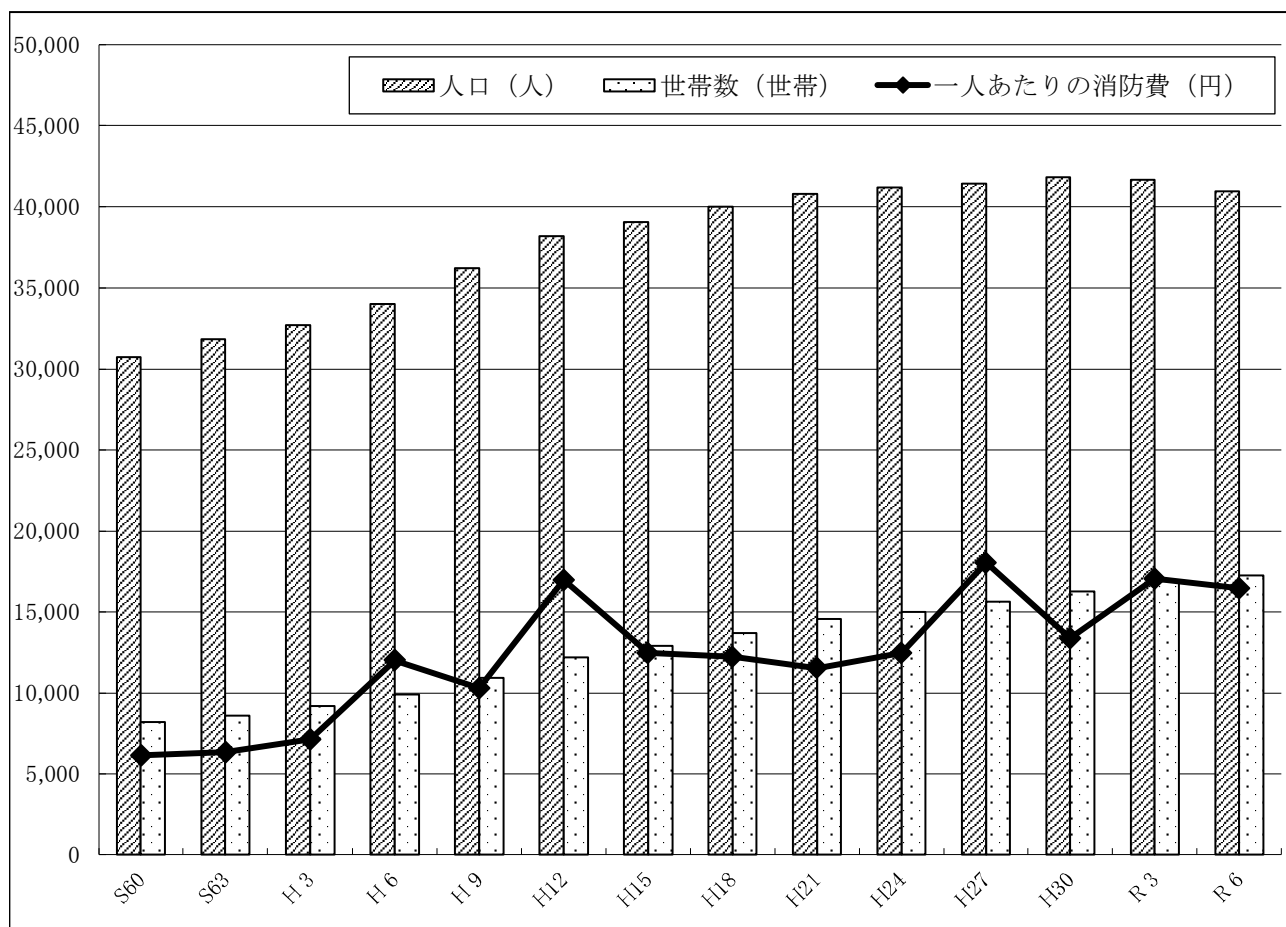
年度 区分	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
一般会計 予算(千円)	4,600,000	5,115,000	4,693,000	5,136,000	5,746,000	6,731,000	6,789,000	7,041,000	7,665,000	7,700,000
消防予算 (千円)	188,804	273,378	187,630	202,019	208,310	225,027	233,430	258,841	295,969	408,634
消防予算の 比率 (%)	4.10%	5.34%	4.00%	3.93%	3.63%	3.34%	3.44%	3.68%	3.86%	5.31%

年度 区分	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
一般会計 予算(千円)	8,080,000	8,619,000	10,280,000	12,550,000	9,200,000	10,230,000	12,800,000	9,600,000	10,030,000	10,850,000
消防予算 (千円)	333,362	321,098	373,523	377,508	373,343	648,950	431,349	435,551	486,794	450,158
消防予算の 比率 (%)	4.13%	3.73%	3.63%	3.01%	4.06%	6.34%	3.37%	4.54%	4.85%	4.15%

年度 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
一般会計 予算(千円)	10,510,000	10,060,000	9,900,000	10,440,000	10,412,000	11,770,000	10,850,000	11,450,000	11,100,000	11,344,000
消防予算 (千円)	468,789	489,395	432,196	465,906	470,975	543,077	465,252	513,698	630,884	557,267
消防予算の 比率 (%)	4.46%	4.86%	4.37%	4.46%	4.52%	4.61%	4.29%	4.49%	5.68%	4.91%

年度 区分	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
一般会計 予算(千円)	12,210,000	13,860,000	13,220,000	12,810,000	12,870,000	13,460,000	13,310,000	13,300,000	13,660,000	15,280,000
消防予算 (千円)	747,012	557,905	592,547	559,353	627,976	654,659	710,572	655,536	662,691	674,140
消防予算の 比率 (%)	6.12%	4.03%	4.48%	4.37%	4.88%	4.86%	5.34%	4.93%	4.85%	4.41%

管内人口の推移



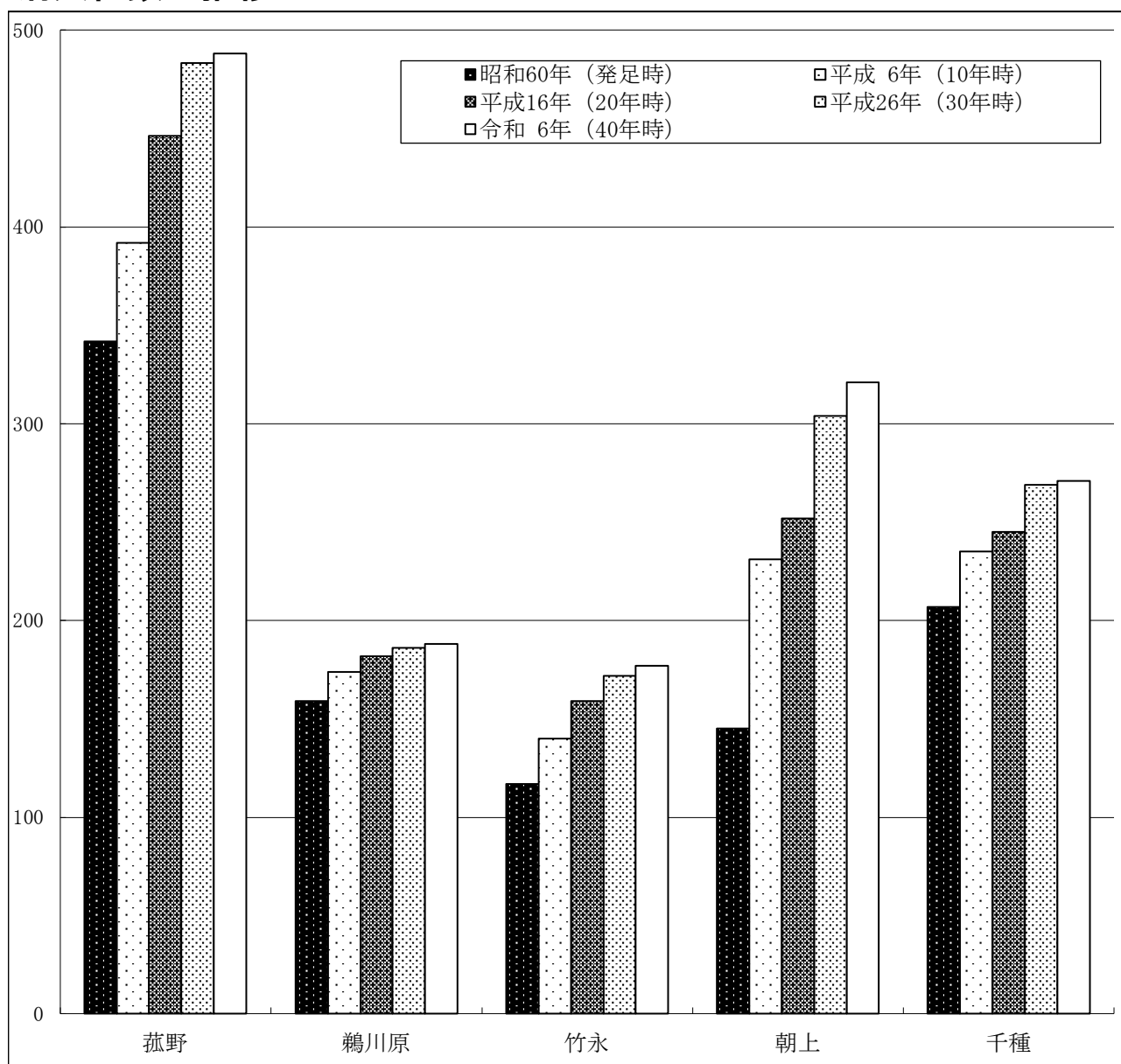
区分 \ 年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
人口 (人)	30,760	31,099	31,546	31,863	32,218	32,443	32,709	33,184	33,546	34,015
世帯数 (世帯)	8,205	8,340	8,467	8,628	8,847	8,996	9,221	9,472	9,659	9,924
一人あたりの消防費 (円)	6,138	8,791	5,948	6,340	6,466	6,936	7,137	7,800	8,823	12,013

区分 \ 年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
人口 (人)	34,769	35,547	36,239	37,402	37,785	38,229	38,713	38,939	39,047	39,155
世帯数 (世帯)	10,221	10,546	10,942	11,682	11,911	12,210	12,493	12,698	12,909	13,066
一人あたりの消防費 (円)	9,588	9,033	10,307	10,093	9,881	16,975	11,142	11,185	12,467	11,497

区分 \ 年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
人口 (人)	39,494	39,989	40,274	40,550	40,784	40,977	41,025	41,171	41,311	41,329
世帯数 (世帯)	13,328	13,721	14,066	14,350	14,565	14,731	14,803	15,014	15,237	15,387
一人あたりの消防費 (円)	11,870	12,238	10,731	11,490	11,548	13,253	11,341	12,477	15,272	13,484

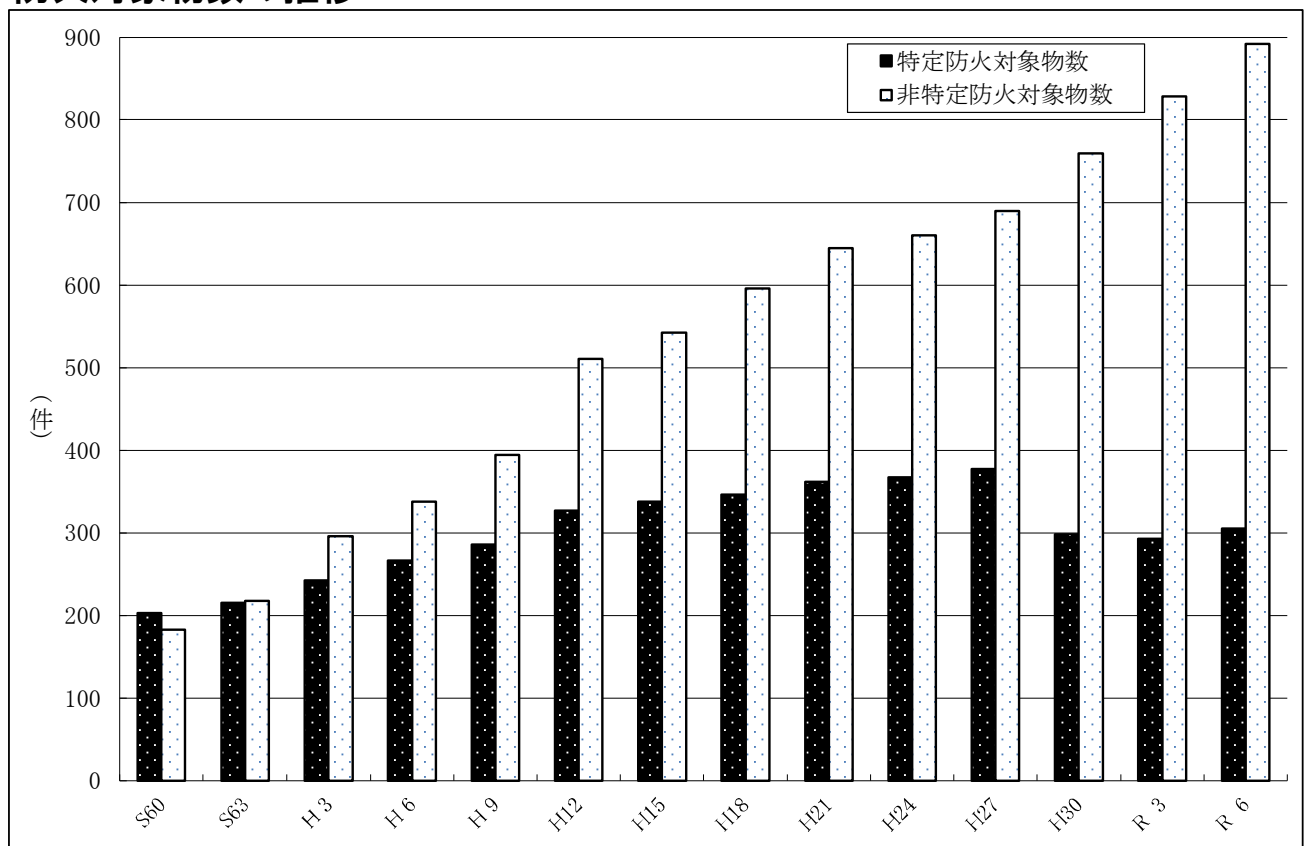
区分 \ 年	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
人口 (人)	41,419	41,540	41,803	41,820	41,738	41,610	41,670	41,390	41,189	40,931
世帯数 (世帯)	15,636	15,828	16,089	16,284	16,461	16,666	16,903	16,964	17,126	17,281
一人あたりの消防費 (円)	18,035	13,431	14,175	13,375	15,046	15,733	17,052	15,838	16,089	16,470

消火栓数の推移



地区	菰野	鵜川原	竹永	朝上	千種	合計
年						
昭和60年(発足時)	342	159	117	145	207	970
平成 6年(10年時)	392	174	140	231	235	1,172
平成16年(20年時)	446	182	159	252	245	1,284
平成26年(30年時)	483	186	172	304	269	1,414
令和 6年(40年時)	488	188	177	321	271	1,445

防火対象物数の推移



年度 区分	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
特定防火対象物数	203	209	216	216	224	234	243	248	258	267
非特定防火対象物数	183	186	193	218	243	262	296	310	322	338
合 計	386	395	409	434	467	496	539	558	580	605

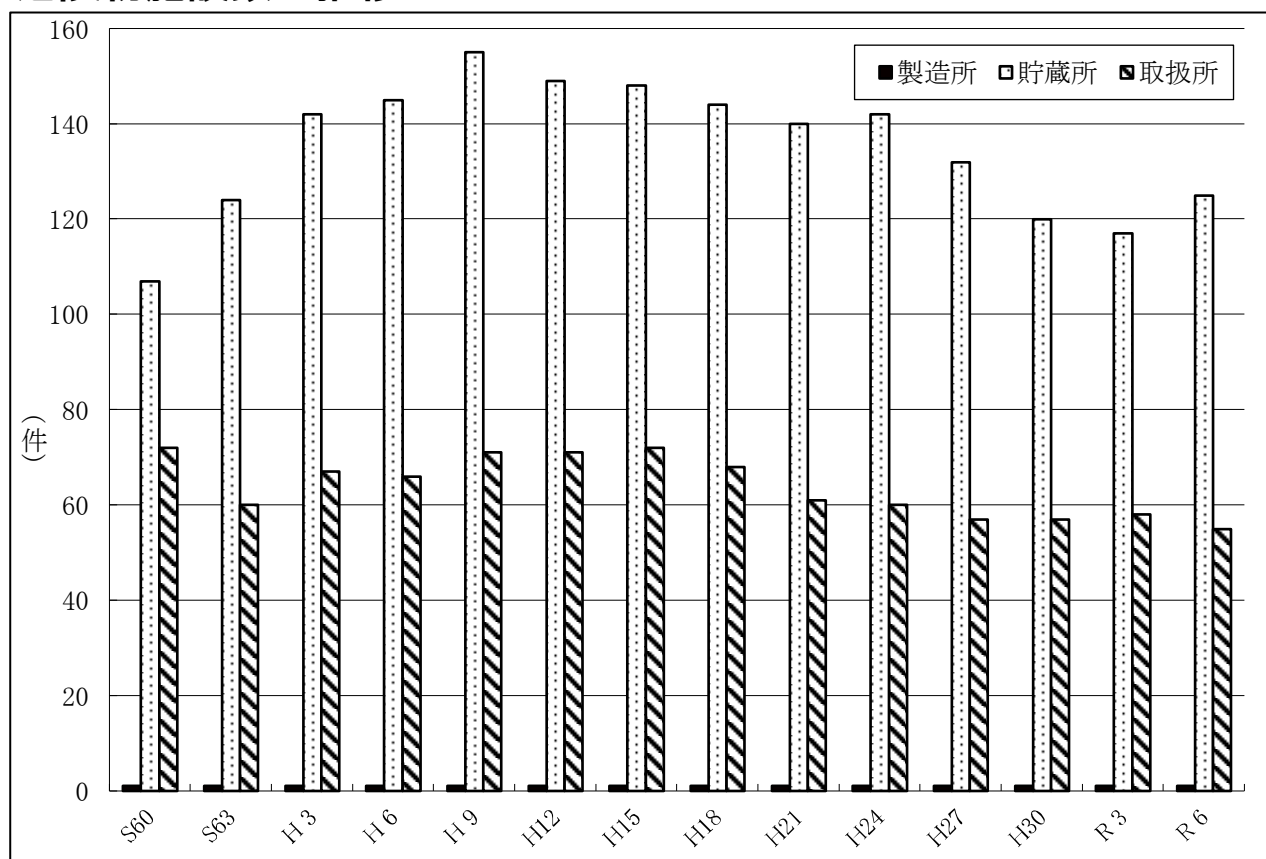
年度 区分	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
特定防火対象物数	271	277	286	304	315	327	329	335	338	337
非特定防火対象物数	357	368	395	438	488	511	523	531	543	562
合 計	628	645	681	742	803	838	852	866	881	899

年度 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
特定防火対象物数	343	347	355	364	362	361	362	368	370	376
非特定防火対象物数	580	596	623	638	645	650	651	661	669	680
合 計	923	943	978	1,002	1,007	1,011	1,013	1,029	1,039	1,056

年度 区分	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
特定防火対象物数	378	380	376	299	289	290	293	288	301	306
非特定防火対象物数	690	697	714	759	783	817	828	837	872	892
合 計	1,068	1,077	1,090	1,058	1,072	1,107	1,121	1,125	1,173	1,198

※特定防火対象物＝集会場、飲食店、物品販売店、ホテル、病院、福祉施設など
 非特定防火対象物＝共同住宅、図書館、学校、工場、倉庫、事務所など

危険物施設数の推移



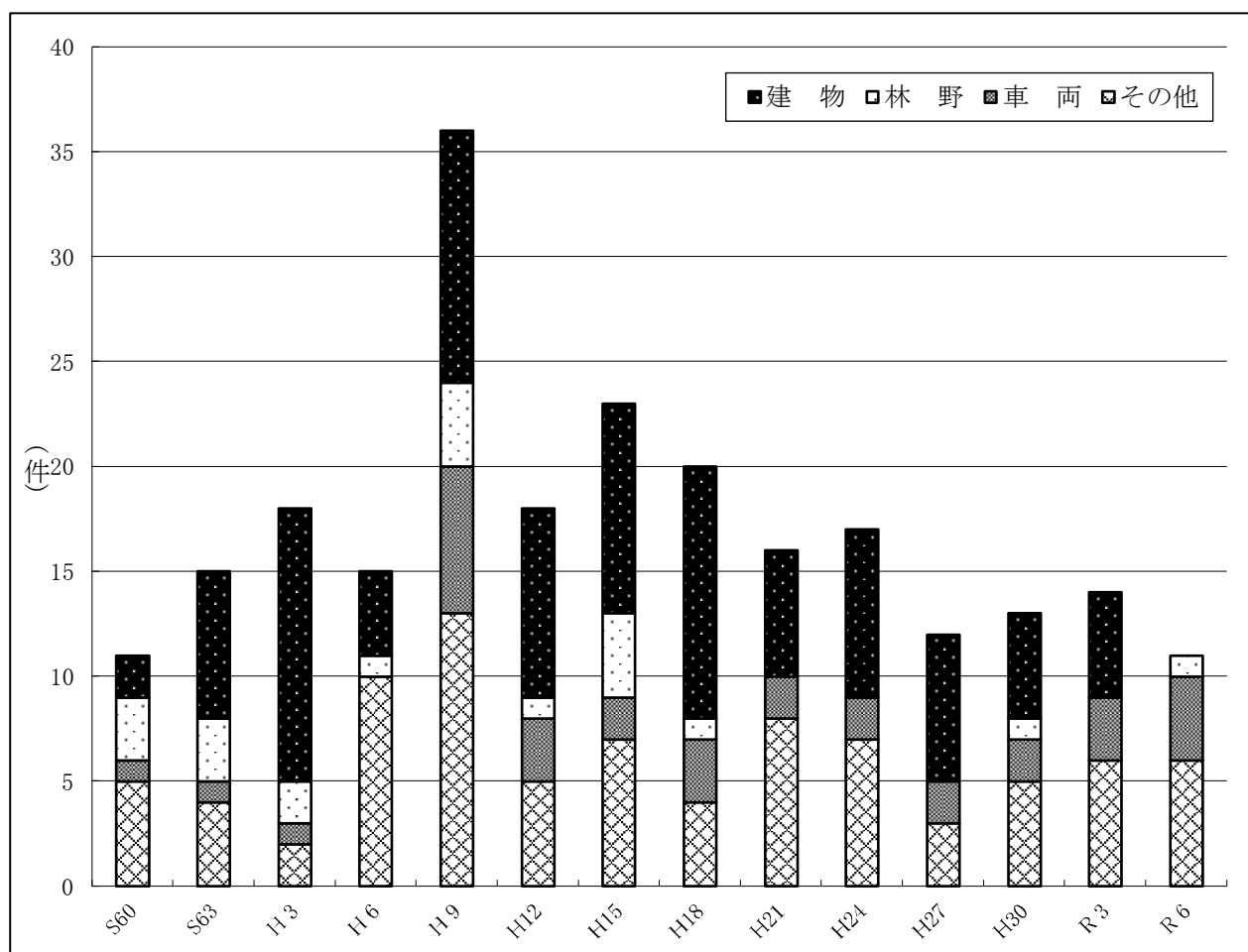
区分 \ 年度	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
製造所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯蔵所	107	111	114	124	138	143	142	141	143	145
取扱所	72	74	55	60	63	66	67	65	65	66
合 計	180	186	170	185	202	210	210	207	209	212

区分 \ 年度	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
製造所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯蔵所	145	145	155	153	150	149	146	149	148	145
取扱所	69	69	71	70	69	71	72	74	72	74
合 計	215	215	227	224	220	221	219	224	221	220

区分 \ 年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
製造所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯蔵所	147	144	143	144	140	141	145	142	143	135
取扱所	71	68	66	62	61	59	60	60	60	57
合 計	219	213	210	207	202	201	206	203	204	193

区分 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
製造所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯蔵所	132	129	121	120	115	119	117	117	119	125
取扱所	57	57	58	57	55	55	58	57	56	55
合 計	190	187	180	178	171	175	176	175	176	181

火災(種別)件数の推移



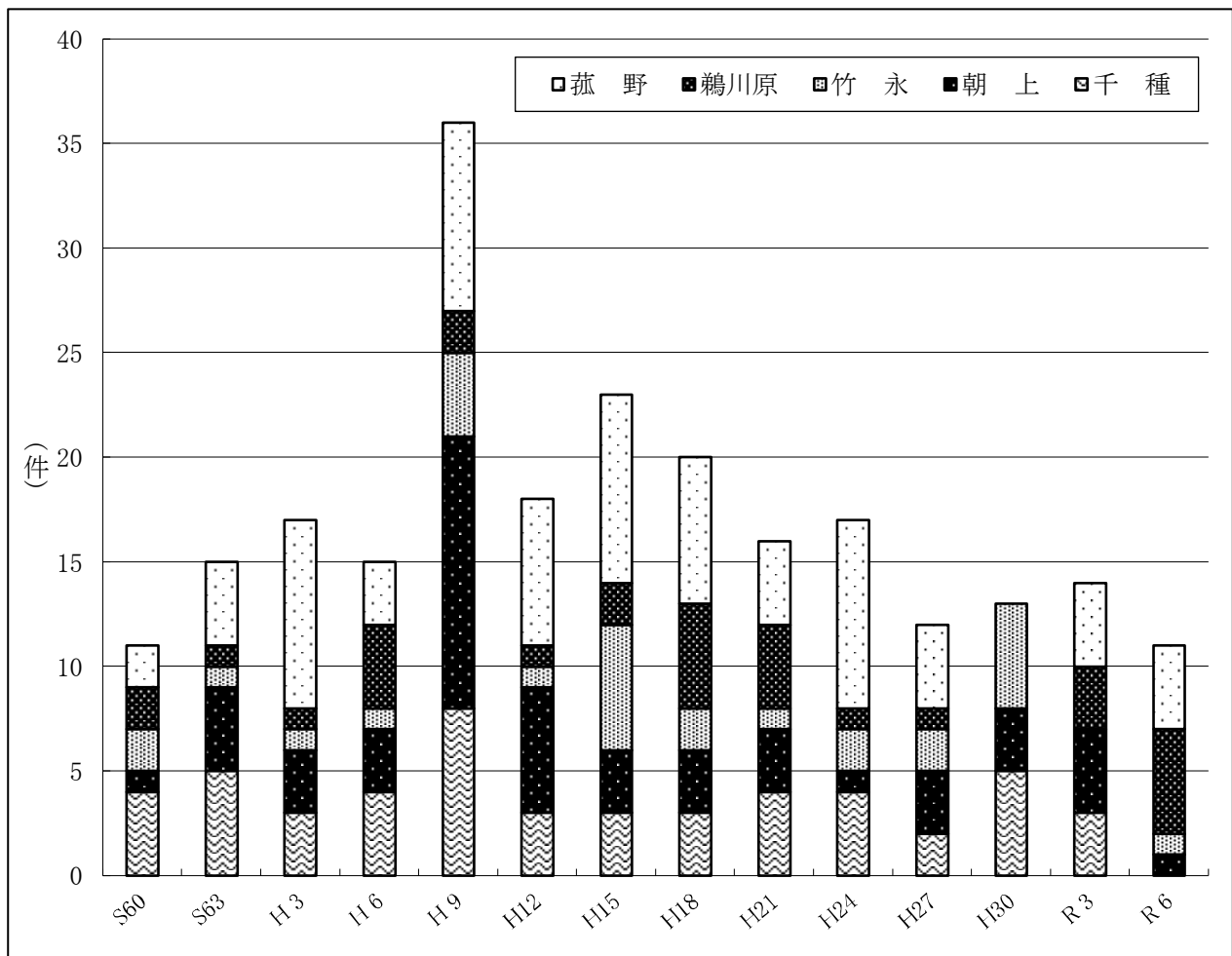
区分年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
建 物	2	8	10	7	8	6	13	11	5	4
林 野	3	3	3	3	1	0	2	0	0	1
車 両	1	3	0	1	2	1	1	1	1	0
その他	5	9	2	4	2	2	2	1	0	10
合 計	11	23	15	15	13	9	17	13	6	15

区分年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
建 物	7	9	12	8	14	9	12	5	10	4
林 野	4	7	4	4	4	1	5	5	4	1
車 両	2	1	7	2	1	3	2	1	2	2
その他	10	13	13	4	2	5	6	10	7	5
合 計	23	30	36	18	21	18	25	21	23	12

区分年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
建 物	9	12	11	11	6	3	3	8	13	3
林 野	3	1	3	1	0	2	1	0	1	2
車 両	4	3	0	2	2	1	1	2	1	1
その他	7	4	7	5	8	9	4	7	7	13
合 計	23	20	21	19	16	15	9	17	22	19

区分年	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
建 物	7	6	7	5	5	4	5	4	6	0
林 野	0	3	1	1	0	2	0	2	3	1
車 両	2	1	3	2	1	3	3	1	1	4
その他	3	4	9	5	2	1	6	6	5	6
合 計	12	14	20	13	8	10	14	13	15	11

火災(地区別)件数の推移



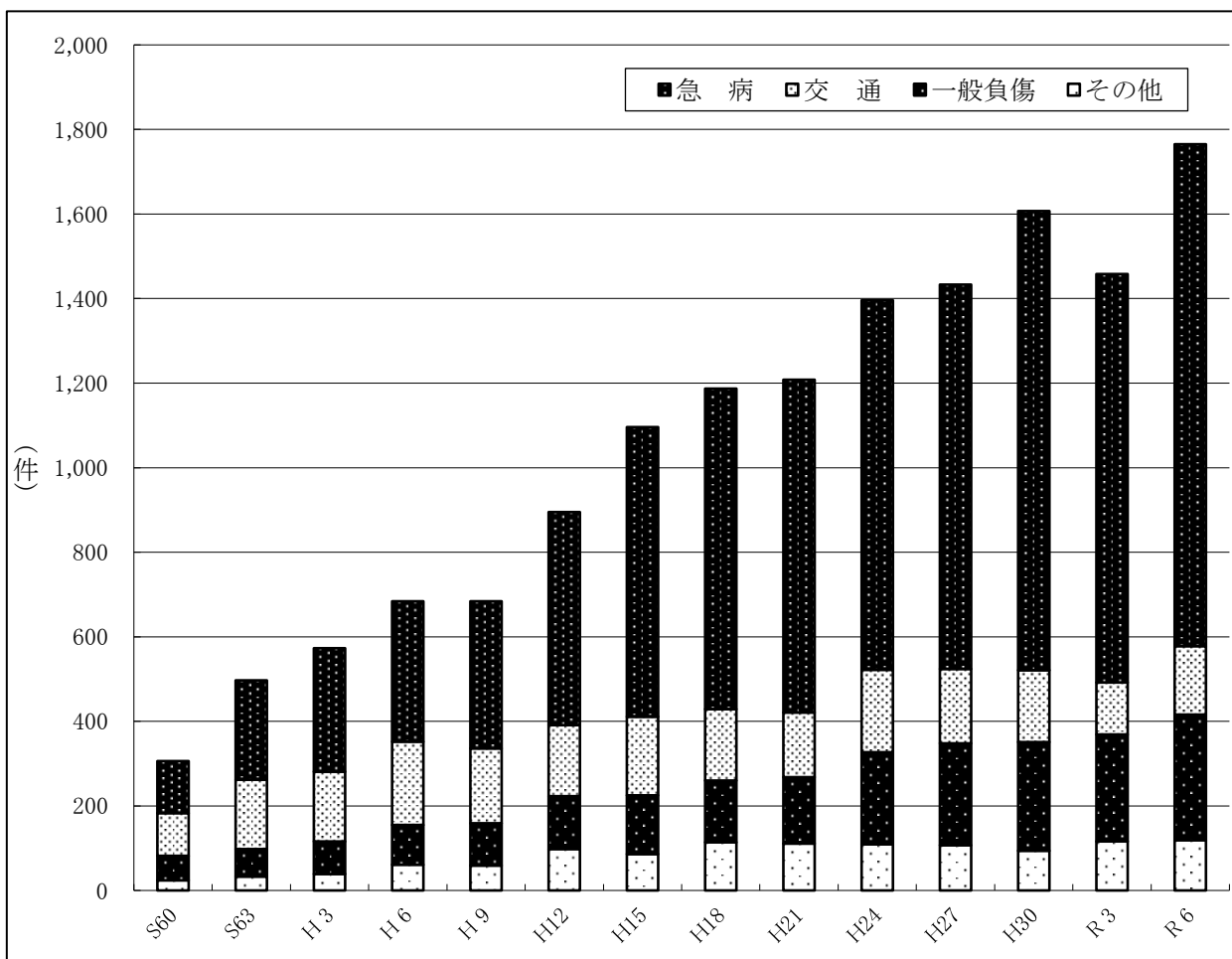
区分 \ 年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
菰野	2	7	3	4	5	3	9	8	4	3
鶴川原	2	1	3	1	1	2	1	1	0	4
竹永	2	1	4	1	2	1	1	0	1	1
朝上	1	7	2	4	2	1	3	1	1	3
千種	4	7	3	5	3	2	3	3	0	4
合計	11	23	15	15	13	9	17	13	6	15

区分 \ 年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
菰野	6	3	9	4	12	7	7	5	9	6
鶴川原	3	3	2	2	3	1	2	3	2	2
竹永	3	2	4	4	1	1	1	2	6	0
朝上	4	13	13	5	2	6	7	4	3	1
千種	7	9	8	3	3	3	8	7	3	3
合計	23	30	36	18	21	18	25	21	23	12

区分 \ 年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
菰野	9	7	4	4	4	6	2	9	9	6
鶴川原	2	5	3	4	4	0	1	1	3	2
竹永	2	2	1	3	1	5	0	2	2	2
朝上	4	3	7	4	3	3	5	1	6	2
千種	6	3	6	4	4	1	1	4	2	7
合計	23	20	21	19	16	15	9	17	22	19

区分 \ 年	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
菰野	4	1	5	0	4	4	4	3	4	4
鶴川原	1	2	5	0	0	3	3	1	3	5
竹永	2	2	2	5	1	1	0	3	1	1
朝上	3	5	4	3	1	1	4	2	2	1
千種	2	4	4	5	2	1	3	4	5	0
合計	12	14	20	13	8	10	14	13	15	11

救急出動件数の推移



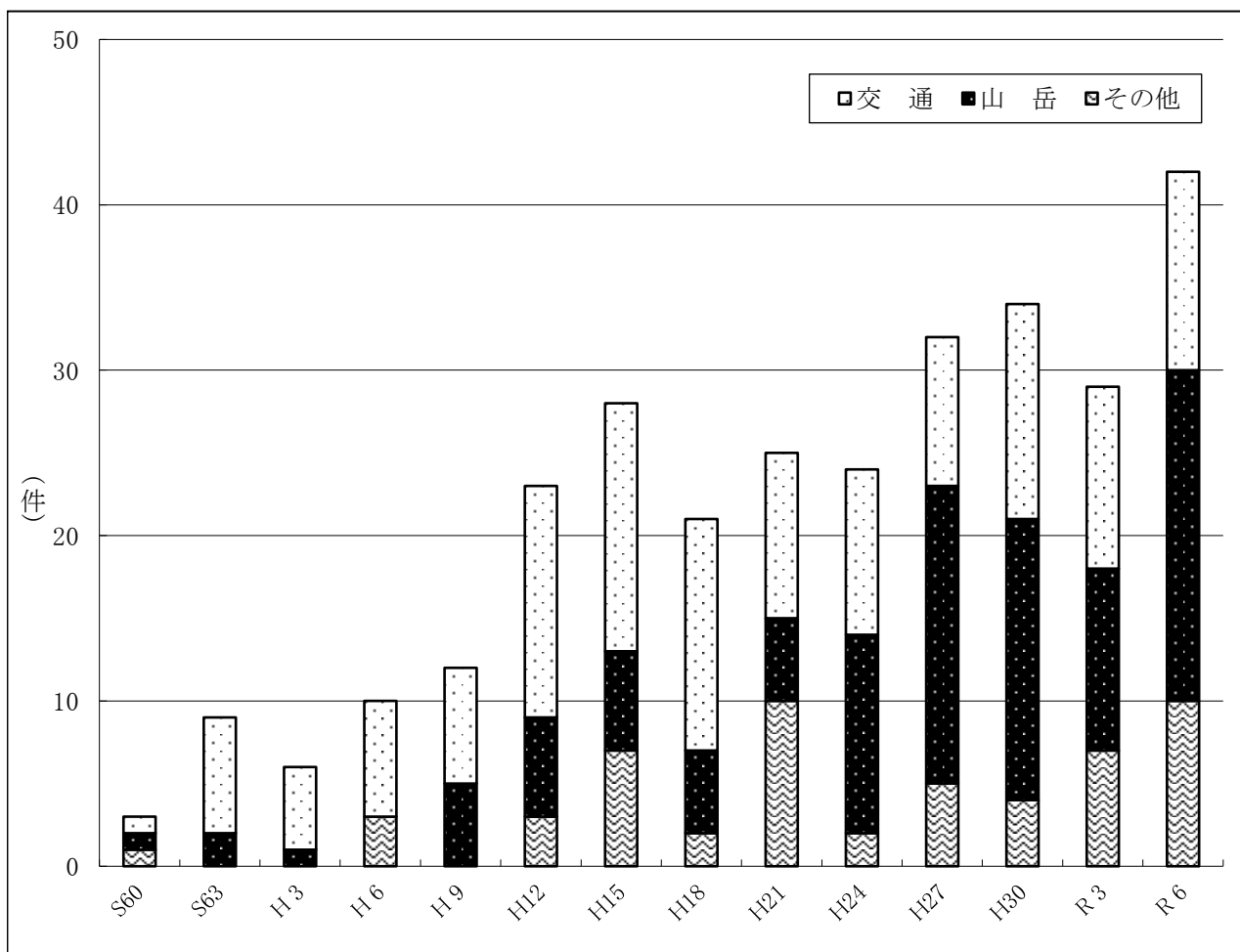
区分	急病	交通	一般負傷	その他	合計
S60	123	101	58	24	308
S61	208	139	56	39	442
S62	201	123	68	42	434
S63	235	164	65	33	497
H1	275	188	71	35	569
H2	263	203	72	57	595
H3	292	165	77	39	573
H4	245	168	86	59	558
H5	324	173	88	56	641
H6	332	197	94	61	684

区分	急病	交通	一般負傷	その他	合計
H7	376	168	97	53	694
H8	410	190	104	75	779
H9	348	177	100	59	684
H10	403	146	78	78	705
H11	394	167	104	81	746
H12	504	168	125	98	895
H13	565	183	134	113	995
H14	612	188	138	80	1,018
H15	685	186	139	86	1,096
H16	665	184	156	86	1,091

区分	急病	交通	一般負傷	その他	合計
H17	708	190	179	118	1,195
H18	758	169	146	114	1,187
H19	799	160	181	108	1,248
H20	777	201	179	109	1,266
H21	787	153	157	111	1,208
H22	800	153	188	101	1,242
H23	903	156	208	93	1,360
H24	874	195	218	109	1,396
H25	957	173	216	127	1,473
H26	915	212	214	110	1,451

区分	急病	交通	一般負傷	その他	合計
H27	909	176	241	107	1,433
H28	958	167	233	94	1,452
H29	977	156	231	116	1,480
H30	1,086	170	257	94	1,607
R1	1,063	158	265	112	1,598
R2	868	122	253	106	1,349
R3	966	123	253	116	1,458
R4	1,230	162	279	106	1,777
R5	1,258	124	270	128	1,780
R6	1,187	162	297	119	1,765

救助出動件数の推移



区分年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
交通	1	3	5	7	8	5	5	5	7	7
山岳	1	0	1	2	2	0	1	0	1	0
その他	1	0	1	0	2	1	0	3	2	3
合計	3	3	7	9	12	6	6	8	10	10

区分年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
交通	8	7	7	10	13	14	13	5	15	18
山岳	2	4	5	7	2	6	6	1	6	4
その他	7	0	0	2	1	3	0	3	7	7
合計	17	11	12	19	16	23	19	9	28	29

区分年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
交通	15	14	6	12	10	11	8	10	3	3
山岳	8	5	10	6	5	12	7	12	12	11
その他	10	2	5	5	10	9	7	2	2	5
合計	33	21	21	23	25	32	22	24	17	19

区分年	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
交通	9	13	9	13	8	13	11	16	10	12
山岳	18	20	24	17	16	16	11	24	14	20
その他	5	3	6	4	7	7	7	10	10	10
合計	32	36	39	34	31	36	29	50	34	42

災害件数の推移

年	区分	火災（件）	救急（件）	救助（件）	人口（人）
昭 和 60 年		11	308	3	31,099
昭 和 61 年		23	442	3	31,546
昭 和 62 年		15	434	7	31,949
昭 和 63 年		15	497	9	32,218
平 成 元 年		13	569	12	32,443
平 成 2 年		9	595	6	32,942
平 成 3 年		17	573	6	33,504
平 成 4 年		13	558	8	33,902
平 成 5 年		6	641	10	34,362
平 成 6 年		15	684	10	35,137
平 成 7 年		23	694	17	36,036
平 成 8 年		30	779	11	36,801
平 成 9 年		36	684	12	37,402
平 成 10 年		18	705	19	37,785
平 成 11 年		21	746	16	38,229
平 成 12 年		18	895	23	38,713
平 成 13 年		25	995	19	38,939
平 成 14 年		21	1,018	9	39,074
平 成 15 年		23	1,096	28	39,155
平 成 16 年		12	1,091	29	39,494
平 成 17 年		23	1,195	33	39,989
平 成 18 年		20	1,187	21	40,274
平 成 19 年		21	1,248	21	40,550
平 成 20 年		19	1,266	23	40,784
平 成 21 年		16	1,208	25	40,977
平 成 22 年		15	1,242	32	41,025
平 成 23 年		9	1,360	22	41,171
平 成 24 年		17	1,396	24	41,311
平 成 25 年		22	1,473	17	41,329
平 成 26 年		19	1,451	19	41,419
平 成 27 年		12	1,433	32	41,540
平 成 28 年		14	1,452	36	41,803
平 成 29 年		20	1,480	39	41,820
平 成 30 年		13	1,607	34	41,738
令 和 元 年		8	1,598	31	41,610
令 和 2 年		10	1,349	36	41,670
令 和 3 年		14	1,458	29	41,390
令 和 4 年		13	1,777	50	41,189
令 和 5 年		15	1,780	34	40,931
令 和 6 年		11	1,765	42	40,657

※昭和60年の災害件数は消防本部発足（4月1日）からの数値

※人口は年度末の数値

消防情勢



火災や災害発生時に迅速かつ的確な活動を行い、被害を最小限にするための対策として警防計画の作成を行っています。建物の特性や防火設備の情報を反映させることで、より実効性の高い計画の作成を目指しています。

警防調査
通年
於：町内事業所

菰野町の概要、位置図

菰野町は三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県、北はいなべ市、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、老若男女を問わず人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々や緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい景観をもっている。

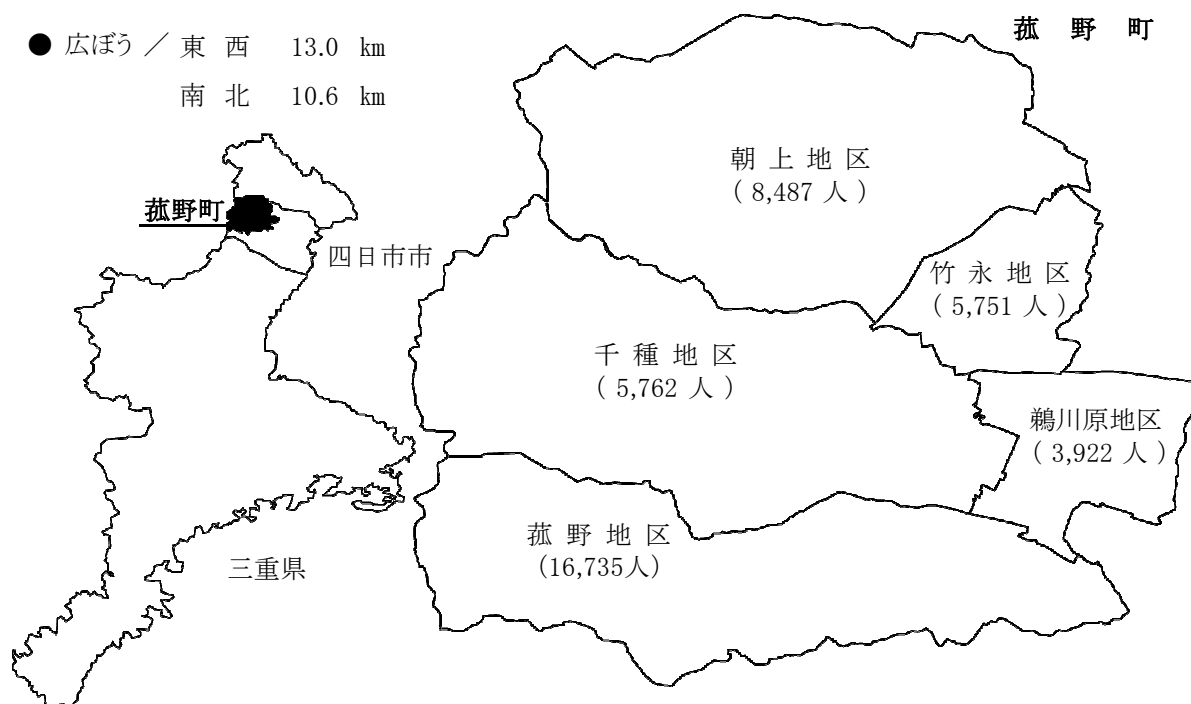
菰野町では、向かうべきまちの将来像に「支えあえる、安全で安心なまち」「豊かな自然を活かして人びとをひきつけるまち」「産業の発展と豊かなくらしが循環するまち」「菰野らしい風景の中、子育てしやすいまち」の4つをあげ、「これらのことが、いつまでも、菰野町としてあり続けられること」を目指しています。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地) ● 人口 / 40,657 人
東経 136° 30' 25" (令和7.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km² ● 世帯数 / 17,437 世帯
(令和7.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう / 東西 13.0 km
南北 10.6 km



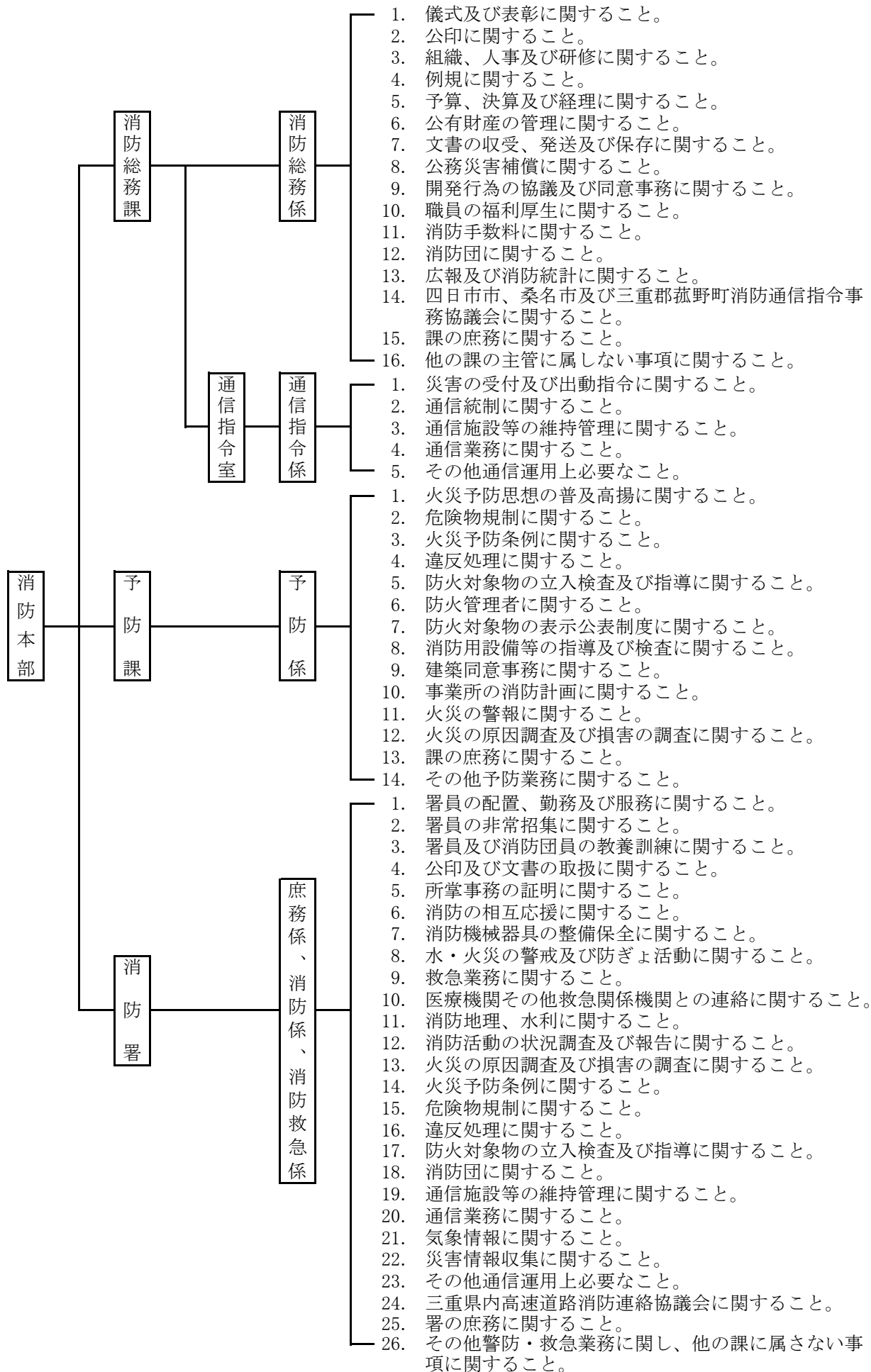
令和6年中の主な行事

1. 14	消防出初式
1. 24	文化財防火運動に伴う特別消防訓練〔中止〕
2. 25	菰野町消防フェア〔イオンタウン菰野、町内一円〕
2. 27	春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔救護施設 菰野千草園〕
3. 1～ 3. 7	春の火災予防運動
4. 7	消防辞令交付式〔農村環境改善センター〕
4. 12	三重県消防職員意見発表会〔大台町グリーンプラザ〕
5. 19	菰野町水防訓練〔三滝川河川敷〕
5. 21	菰野町防火協会理事会総会〔千種地区コミュニティセンター〕
5. 28	危険物安全週間に伴う特別消防訓練 〔富士フイルムヘルスケアマニュファクチャリング株式会社〕
6. 2～ 6. 8	危険物安全週間
6. 30	菰野町消防団消防操法大会〔保健福祉センターけやき北駐車場〕
7. 11	消防救助技術東海地区指導会〔三重県消防学校〕
7. 21	三重県消防操法大会〔三重県消防学校〕
8. 30～ 9. 5	防災週間
8. 30	防災週間に伴う特別消防訓練〔中止〕
9. 1	菰野町民総ぐるみ総合防災訓練〔中止〕
9. 8～ 9. 14	救急医療週間
9. 28～ 9. 29	消防自動車写生大会〔消防本部〕
10. 9	三重県警防技術交換会〔三重県消防学校〕
11. 9～11. 15	秋の火災予防運動
11. 10	秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔三重県民の森〕
12. 28～12. 31	年末特別警戒〔町内一円〕

※中止となった行事については、実施予定日を記載してあります。

消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌

令和 7. 4. 1現在



消防予算(当初額)

(千円)

年度 \ 区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水 防 費	合 計
令和3年度	535,782	39,326	135,414	50	710,572
令和4年度	550,995	42,731	61,760	50	655,536
令和5年度	551,542	40,502	70,597	50	662,691
令和6年度	568,334	49,149	56,607	50	674,140
令和7年度	574,747	44,415	369,081	40	988,283

一般会計予算に占める消防費の割合(当初額)

年度 \ 区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比 率(%)
令和3年度	13,310,000	710,572	5.3
令和4年度	13,300,000	655,536	4.9
令和5年度	13,660,000	662,691	4.9
令和6年度	15,280,000	674,140	4.4
令和7年度	15,990,000	988,283	6.2

消防費に対する人口、世帯当り額

年度 \ 区分	人 口 (人)	世 帯 (戸)	消防費 (千円)	人口1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの 消防費(千円)
令和3年度	41,670	16,903	710,572	17	42
令和4年度	41,390	16,964	655,536	16	39
令和5年度	41,189	17,126	662,691	16	39
令和6年度	40,931	17,281	674,140	16	39
令和7年度	40,657	17,437	988,283	24	57

消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	0
	はしご付消防自動車	1	はしご付消防自動車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2) 高規格救急自動車(3)	3	0
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	合 計	9	合 計	8	△ 1

(人)

人 員	消 防 力 の 整 備 指 針 に よ る 区 分 別 算 定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消 防 ポ ン プ 自 動 車 (1)	5人×3部制＝15人	69	39	△ 30
		消 防 ポ ン プ 自 動 車 (2)	4人×3部制＝12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制＝15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制＝ 9人			
		救 急 自 動 車 (2)	3人×3部制＝ 9人			
		指 揮 車	3人×3部制＝ 9人			
		救 急 自 動 車 (3)	(兼 務 運 用)			
		はしご付消防自動車	(乗 換 運 用)			
		化学消防自動車【未配備】				
	通 信 員		3	3	0	
	予 防 要 員		5	4	△ 1	
そ の 他 の 人 員		4	10	6		
合 計			81	56	△ 25	

令和 7. 4. 1現在

職員階級別、所属別配置状況

令和 7. 4. 1現在

所属 \ 階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
消防長、消防本部	1	1					2
消防本部消防総務課		3	4	1		1	9
消防本部予防課		1	1	1		1	4
消防署		3	13	6	8	11	41
町部局			1	1			2
合 計	1	8	19	9	8	13	58

職員階級別勤続年数状況

令和 7. 4. 1現在

勤続年数 \ 階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
1年未満						2	2
1年						1	1
2年						2	2
3年						3	3
4年						2	2
5年					2	1	3
6年							
7年				1	2	2	5
8年				1	1		2
9年	1				1		2
10年				1	1		2
11年				1			1
12年				1	1		2
13年							
14年				1			1
15年							
16年				1			1
17年			2				2
18年				1			1
19年			1				1
20年							
21年			2				2
22年							
23年			1				1
24年			2	1			3
25年							
26年			2				2
27年		1	1				2
28年		1	2				3
29年							
30年							
31年		3	2				5
32年			1				1
33年		1					1
34年							
35年		1					1
36年							
37年		1	1				2
38年							
39年							
40年			2				2
合 計	1	8	19	9	8	13	58

職員階級別年齢状況

令和 7. 4. 1現在

年齢 \ 階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
19歳						1	1
20歳						1	1
21歳						1	1
22歳						3	3
23歳						2	2
24歳						1	1
25歳						1	1
26歳						2	2
27歳					3		3
28歳						1	1
29歳					3		3
30歳					2		2
31歳							
32歳				1			1
33歳				2			2
34歳				1			1
35歳				1			1
36歳				2			2
37歳							
38歳			1	1			2
39歳			2				2
40歳			1				1
41歳							
42歳				1			1
43歳			2				2
44歳			1				1
45歳							
46歳			1				1
47歳			1				1
48歳			1				1
49歳			3				3
50歳			2				2
51歳		1					1
52歳		2					2
53歳		2					2
54歳							
55歳		2					2
56歳		1					1
57歳							
58歳							
59歳	1						1
60歳			4				4
61歳							
62歳							
63歳							
合 計	1	8	19	9	8	13	58

平均年齢 38.8 歳

消防本部(署)庁舎の概要

令和 7. 4. 1現在

所在地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積:5,039.21㎡)					
区分	庁舎	仮設庁舎	訓練棟			車庫棟
	消防署	消防本部	主塔	副塔	倉庫棟	車庫棟
建設年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	令和2年竣工
構造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建	鉄骨平屋建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡	53.4㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡	53.4㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	53.4㎡
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	
3 F	(P.H) 21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡		
4 F			32.4㎡			

現有消防車両

令和 7. 4. 1現在

車種 \ 区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免許区分
はしご車	日野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8,860	19,120	大型
救助工作車	日野	Ⅱ型	三重800は1347	H20. 3. 13	7,680	12,000	大型
水槽付ポンプ車	日野	水-Ⅱ型 (災害対応)	三重830す2201	R 4. 1. 7	5,120	11,700	大型
小型動力ポンプ付水槽車	日野	Ⅰ型	三重830と2002	R 2. 2. 27	5,120	12,655	大型
ポンプ車	日野	CD-Ⅰ型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26. 12. 4	4,000	6,755	準中型
救急1号車	日産	高規格 (災害対応)	三重830す2402	R 6. 2. 26	2,480	3,305	普通
救急2号車	日産	高規格	三重830す1711	H29. 11. 17	3,490	3,385	普通
救急3号車	日産	高規格	三重830せ1511	H27. 11. 17	3,490	3,395	普通
査察車	日産	ワゴン	三重800せ6102	R 7. 2. 13	1,590	2,190	普通
広報車	トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2,690	2,670	普通
資機材搬送車	いすゞ	2t 積	三重800せ 127	H27. 1. 29	2,990	4,905	準中型
救急予備車	日産	高規格	三重800す7167	H22. 12. 2	3,490	3,235	普通

通信施設状況

令和 7. 4. 1現在

種 類		数量	備 考
車 載 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	12局	菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6	
携 帯 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	16局	菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6	
消 防 団 車 載 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	11局	菰野波2、消防団波	
消 防 団 携 帯 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	11局	菰野波2、消防団波	
半 固 定 無 線 局 (デ ジ タ ル)	4局	こもの200【卓上型】 こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】 役場災害対策室設置 菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6	
消 防 救 急 デ ジ タ ル 無 線 基 地 局 (活 動 波)	1局	活動波：みえきたしれいこもの（菰野波1～2） 【通信所】こものしょうぼう	
三 重 県 消 防 救 急 デ ジ タ ル 無 線 基 地 局 共 通 波 (菰 野 中 継 所)	1局	みえきょうつうこもの（主運用波、統制波1～3） 【通信所】こものしょうぼう	
三 重 県 防 災 行 政 無 線 局	3局	衛星局、地上局、可搬型衛星地球局	
携 帯 移 動 無 線 局 (署 活 動 用 携 帯 型)	36局	こもの310～339、341～343、こもの300～302 署活1～2、消防団波	
デ ジ タ ル 簡 易 無 線 局 (携 帯 型)	15台		
車 両 運 用 端 末 装 置 Ⅲ 型 (A V M)	11台	ドコモFOMA回線	
職 員 招 集 メ ー ル 発 信 シ ス テ ム	1式		
菰野町行政情報メール発信システム	1式		
指 令 セ ン タ ー 用 内 線 電 話 機	1回線	三重北消防指令センター連絡用	
駆 付 け 通 報 装 置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用（玄関前に設置）	
一 般 加 入 電 話	2回線 4ch		
F A X	1回線 2ch	一般用、福祉用	
救 急 情 報 伝 送 シ ス テ ム	3台		
救 急 車 積 載 携 帯 電 話	5台		
携 帯 電 話	3台	本部1、署2	
ド ロ ー ン 通 信 用 資 機 材	1台		
報 知 電 話 (1 1 9)	7回線 14ch	固定電話、携帯電話、IP電話	
F A X 1 1 9	1台		
N e t 1 1 9	2台		
119 番 映 像 通 報 シ ス テ ム	1式		
順 次 指 令 装 置	6回線 12ch	指令台連動	
消 防 テ レ フ ォ ン ガ イ ド	1回線 2ch	指令台連動 NTTひかりにより同時に3回線受信可能	
指 令 メ ー ル	1式	火災指令メール	
多 言 語 三 者 間 同 時 通 訳 シ ス テ ム	1回線	通訳センターを介した多言語三者間同時通訳	
ケ ー ブ ル テ レ ビ 消 防 情 報	1ch		

※三重北消防指令センターは菰野町消防本部、四日市市消防本部及び桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています。

消防水利状況

令和 7. 4. 1現在

水 利		菰 野	鵜川原	竹 永	朝 上	千 種	合 計
消 火 栓	管 径 50 mm 以 下	5		1		2	8
	管 径 75 mm	172	81	102	124	112	591
	管 径 100 mm	151	44	38	113	75	421
	管 径 150 mm 以 上	160	63	37	85	82	427
	合 計	488	188	178	322	271	1, 447
防 火 水 槽	容 量 20 m ³ 未 満	3		2	7	2	14
	容 量 20 m ³ 以 上 40 m ³ 未 満	22	3	7	12	4	48
	容 量 40 m ³ 以 上	4	1	1	3	8	17
	耐 震 性 貯 水 槽 40 m ³	7	1	1	2	2	13
	耐 震 性 貯 水 槽 100 m ³	1	1	1	1	1	5
	プ ー ル	4	1	1	2	1	9
	合 計	41	7	13	27	18	106
自 然 水 利	河 川	51	17	13	74	63	218
	池	8	2	3	17	11	41
	合 計	59	19	16	91	74	259

各種研修実施状況

令和6年度

内 容	区 分	延 時 間	延 人 数	回 数
訓 育		8	11	3
法 学 一 般		10	4	4
実 務 法 規		4	6	2
地 理 及 び 水 利		62	56	17
火 災 予 防		158	453	101
勤 務 要 綱		176	175	75
消 防 行 動		10	30	5
消 防 戦 術		77	103	30
消 防 機 械		339	1, 146	258
消 防 操 法		153	394	69
実 施 訓 練		970	2, 520	417
訓 練 礼 式		28	107	10
救 急 学		1, 545	1, 022	377
体 育		96	3, 011	336

外部研修等派遣状況

令和6年度

派遣	区分	科 目	期 間	人員
	救急救命士研修所	救急救命士新規養成研修（東京研修所第67期）	R6. 9. 10～R7. 3. 10	1
	消防大学校	警防科（第114期）	R6. 6. 13～R6. 8. 1	1
		消防団活性化推進コース（第15回）	R6. 11. 25～R6. 11. 29	1
	消 防 学 校	初任科（第61期）救急科 救急課程（第27期）	R6. 4. 8～R6. 12. 3	1
		気管挿管フォローアップ講習	R6. 7. 25	1
		救助科 救助課程（第34期）	R6. 9. 3～R6. 10. 4	1
		特別科 はしご自動車講習	R6. 12. 10～R6. 12. 13	1
		予防査察科 予防査察課程（第11期）	R7. 1. 20～R7. 1. 31	1
		警防科 警防課程（第36期）	R7. 1. 27～R7. 2. 7	1
		危険物科 危険物課程（第19期）	R7. 2. 3～R7. 2. 7	1
		特別科 救急救命士ブラッシュアップ講習	R7. 2. 12～R7. 2. 14	1
		特別科 指揮課程（第12期）	R7. 2. 17～R7. 2. 21	1
		指導救命士再任講習	R7. 2. 25	1
	警 防	JTF FTC アウェアネス（火災に関する理論や根拠の習得）	R6. 6. 24、R6. 7. 2	1
		JTF FTC リミテッド（屋外から屋内への移行戦術の習得）	R7. 3. 8～R7. 3. 9	1
	救 急	PEMECコース（救急隊員による疾病の観察処置の標準化）	R6. 7. 10	1
		MCLSコース（多数傷病者対応研修）	R6. 8. 4	1
		JPTECプロバイダーコース（外傷病院前救護研修）	R6. 8. 24、R6. 11. 16	3
		JPTEC更新コース（外傷病院前救護研修）	R6. 8. 24、R7. 3. 1	3
		MIELS（メディカルラリー）	R6. 10. 5	1
		新生児蘇生法講習会Pコース・病院前コース	R6. 10. 12	1
		救急コ・メディカルセミナー	R6. 10. 28	1
		全国救急隊員シンポジウム	R6. 11. 21～R6. 11. 22	1
		PCECコース（意識障害病院前救護研修）	R6. 11. 29	2
		JPTECインストラクターコース（外傷病院前救護研修）	R6. 11. 30	1
		大阪蘇生アカデミー	R6. 12. 4、R6. 12. 5	2
		全国山岳遭難対策協議会	R6. 7. 12	1
	救 助	テクニカルロープレスキューテクニシャン	R6. 7. 22～R6. 7. 24	1
		山岳遭難救助研修会	R6. 10. 7～R6. 10. 11	1
		全国消防救助シンポジウム	R6. 12. 12	1
		調査技術会議	R6. 6. 20	1
	予 防	予防技術講習会	R6. 7. 26	1
		違反是正研修会	R6. 8. 8	2
		火災調査研究発表会	R6. 10. 17	2
		消防法令違反是正事例発表会	R6. 11. 1	1
		火災科学セミナー	R6. 12. 11	1
		消防及び警察機関事故原因究明技術研修会（WEB）	R6. 12. 12	2
		電気保安講習会	R7. 2. 12	1
		危険物事故事例セミナー	R7. 2. 27	1
		三重県通信指令員救急教育	R6. 9. 11	1
	通 信 指 令	第6回通信指令シンポジウム	R7. 3. 15	1
		大型自動車免許取得	R6. 4. 23～R6. 9. 20	2
	そ の 他	無人航空機操縦者技能証明書取得	R6. 10. 25、R7. 1. 14	3

応急手当普及啓発活動実施状況

菰野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

令和2年度～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が減少となっています。

区分 年度	救 急 講 習		普 通 救 命 講 習		応急手当普及員講習	
	回 数	受講者数	回 数	修了者数	回 数	修了者数
平 成 7 年 度	10	351	5	93		
平 成 8 年 度	16	330	7	78		
平 成 9 年 度	18	384	10	130		
平 成 10 年 度	12	310	8	90		
平 成 11 年 度	14	942	8	142		
平 成 12 年 度	14	382	11	206		
平 成 13 年 度	9	257	13	151		
平 成 14 年 度	9	396	24	408		
平 成 15 年 度	14	592	13	197		
平 成 16 年 度	17	828	16	263		
平 成 17 年 度	9	1,094	33	480	1	12
平 成 18 年 度	15	734	59	840	5	60
平 成 19 年 度	16	461	60	989	3	57
平 成 20 年 度	4	226	71	1,013	4	72
平 成 21 年 度	11	262	44	592	3	45
平 成 22 年 度	7	302	35	512	2	38
平 成 23 年 度	9	319	45	699		
平 成 24 年 度	11	468	39	628	2	26
平 成 25 年 度	6	276	37	571	1	29
平 成 26 年 度	17	459	45	564	3	28
平 成 27 年 度	21	526	47	636	3	42
平 成 28 年 度	12	427	42	555	3	19
平 成 29 年 度	17	671	45	577	3	17
平 成 30 年 度	8	172	40	541	3	22
令 和 元 年 度	16	249	37	480	2	11
令 和 2 年 度	3	37	12	66	6	26
令 和 3 年 度	1	20	21	74	2	3
令 和 4 年 度	12	270	24	178	2	2
令 和 5 年 度	24	464	28	237	1	3
令 和 6 年 度	25	869	37	401	2	14
合 計	377	13,078	916	12,391	51	526

自主防災組織

令和 7. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	菰野地区婦人消防隊 (昭和43年4月21日結成	360 人)
	鵜川原地区婦人消防隊 (昭和40年3月20日結成	71 人)
	竹永地区婦人消防隊 (昭和58年6月 1日結成	73 人)
	朝上地区婦人消防隊 (昭和42年4月 1日結成	123 人)
	千種地区婦人消防隊 (昭和57年4月21日結成	114 人)
合計 5 隊 総員 741 人		

(2) 自 警 団
合計 33 団 総員 709 人

菰 野 地 区	神 野 明 区 (12 人)
	菰 野 第 一 区 (37 人)
	菰 野 第 三 区 (138 人)
	宿 野 区 (18 人)
	福 村 区 (10 人)
	神 森 区 (14 人)
計 6 団 総員 229 人	

鵜 川 原 地 区	大 強 原 区 (14 人)
	下 村 区 (15 人)
	川 北 区 (15 人)
	池 底 区 (12 人)
	吉 沢 区 (10 人)
	諏 訪 区 (9 人)
計 6 団 総員 75 人	

竹 永 地 区	竹 成 区 (17 人)
	永 井 区 (37 人)
計 2 団 総員 54 人	

朝 上 地 区	杉 谷 区 (15 人)
	榑 区 (13 人)
	松 涛 園 区 (13 人)
	小 島 園 区 (17 人)
	田 口 新 田 区 (19 人)
	美 山 区 (46 人)
	田 口 区 (9 人)
	日 丘 区 (22 人)
	切 畑 区 (5 人)
	一 本 木 団 地 (9 人)
	青 葉 台 区 (8 人)
計 11 団 総員 176 人	

千 種 地 区	千 草 区 (20 人)
	音 羽 区 (10 人)
	潤 田 区 (34 人)
	三 滝 園 区 (40 人)
	岡 区 (9 人)
	福 松 区 (17 人)
	奥 郷 区 (10 人)
	江 野 区 (35 人)
計 8 団 総員 175 人	

緊急避難所

令和 7. 4. 1現在

区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
神 明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公所	大字菰野8475-22		32
大 羽 根 園	大羽根園自治会公所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰 野 第 一 区	菰野第一区第一公所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰 野 第 二 区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰 野 第 三 区	南部公民館	大字福村148		128
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	50
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿 野	宿野公所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福 村	福村公所	大字福村272	059-394-2744	56
神 森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大 強 原	大強原公所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下 村	下村公所	大字下村2166-3		48
川 北	川北公所	大字川北563	059-393-2074	81
池 底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉 沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2		44
諏 訪	諏訪公所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹 成	竹成区公会堂	大字竹成2116	059-396-1880	78
永 井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田 光	田光公会堂	大字田光2066	059-396-0127	90
杉 谷	杉谷公所	大字杉谷776-1	059-396-2319	66
榊	榊公所	大字榊303		16
松 涛 園	松涛園公所	大字小島417-185		36
小 島	小島集落センター	大字小島1687-1		33
田 口 新 田	田口新田公所	大字田口新田2256		42
美 山	美山区公所	大字田口新田232-32		13
田 口	田口公所	大字田口2495		56
日 丘	日丘区公所	大字田口新田117-66		16
切 畑	切畑公所	大字切畑720		13
根 の 平	根の平公所	大字根の平114-1		10
一 本 木 団 地	一本木公所	大字榊895-44		24

区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
青 葉 台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		39
	(株)マキテック三重工場	大字千草4633-9		87
千 草	千草公会所	大字千草2763		50
	千草区区民センター	大字千草2510		26
音 羽	音羽公会所	大字音羽585-1		31
潤 田	潤田集落研修センター	大字潤田499	059-394-1430	79
三 滝 園	三滝園公会所	大字潤田650-177		26
岡	岡公民館	大字千草4127-10	059-393-4193	56
福 松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	42
奥 郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	43
江 野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	37

収容人員＝有効スペース3㎡×1人

風水害時における緊急避難所を補完する施設

令和 7. 4. 1現在

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野地区 コミュニティセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝 上 地 区	朝上地区 コミュニティセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千 種 地 区	千種地区 コミュニティセンター	大字千草3851	059-393-2052	18

収容人員＝有効スペース(和室) 3㎡×1人

※緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難者及びキャンプ場宿泊者等を受け入れる場合に利用する。

収容避難所

令和 7. 4. 1現在

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野町B&G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2122	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜 川 原 地 区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹 永 地 区	竹永小学校	大字竹成2593-5	059-396-0009	198
朝 上 地 区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千 種 地 区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容人員＝体育館等3㎡×1人

収容避難所を補完する施設

令和 7. 4. 1現在

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野こども園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西こども園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野東こども園	大字菰野1485	059-393-1179	78
鶉 川 原 地 区	鶉川原こども園	大字大強原829-1	059-393-2405	38
竹 永 地 区	竹永幼稚園 竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	56
朝 上 地 区	朝上こども園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
	北部子ども子育て支援拠点施設	大字田光4293	059-396-0707	41
千 種 地 区	千種幼稚園 千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	58

※収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する、隣接の保育園、幼稚園、こども園等である。

消防団



三重県消防操法大会は、消防団員の消防技術を競う大会です。ポンプ車からホースを延長し、標的に向かって放水するもので安全性、正確性、迅速性を審査されます。大会に向けて、消防団員は本業を持つなか日々訓練に励んでいます。限られた時間の中で技術を磨き、チームワークを高めながら本番に備えています。ポンプ車操法の部において第3位という結果をおさめました。

三重県消防操法大会
令和6年7月21日
於：三重県消防学校

消防団

消防団は郷土愛の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震、風水害、火災等の災害時には町民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平時には火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

令和6年中における主な活動は、火災件数11件の内、消防団の出動は8回、延べ出動人員143人。
その他に出初式、各種訓練、警戒、警備等に出動し活躍しています。

菰野町消防団の沿革

明治27年	消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。
昭和 3年	町制施行により菰野村が菰野町となる。
昭和14年	警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。
昭和23年	消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。
昭和30年 4月	町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。
昭和31年 9月	菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。
昭和32年 1月	菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数 159名）に統一、菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。
昭和41年 7月	湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。
昭和43年 1月	菰野町役場に本部班が設置される。
昭和58年 4月	本部班が本部分団となり、全7分団となる。
昭和58年 7月	三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
昭和59年 7月	三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
平成 2年10月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。
平成 6年10月	全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 9年 2月	第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
平成 9年 8月	三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成18年 7月	三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。
平成26年11月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
令和 2年 3月	消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。
令和 6年 7月	三重県消防操法大会に千種分団が出場し、第3位入賞する。

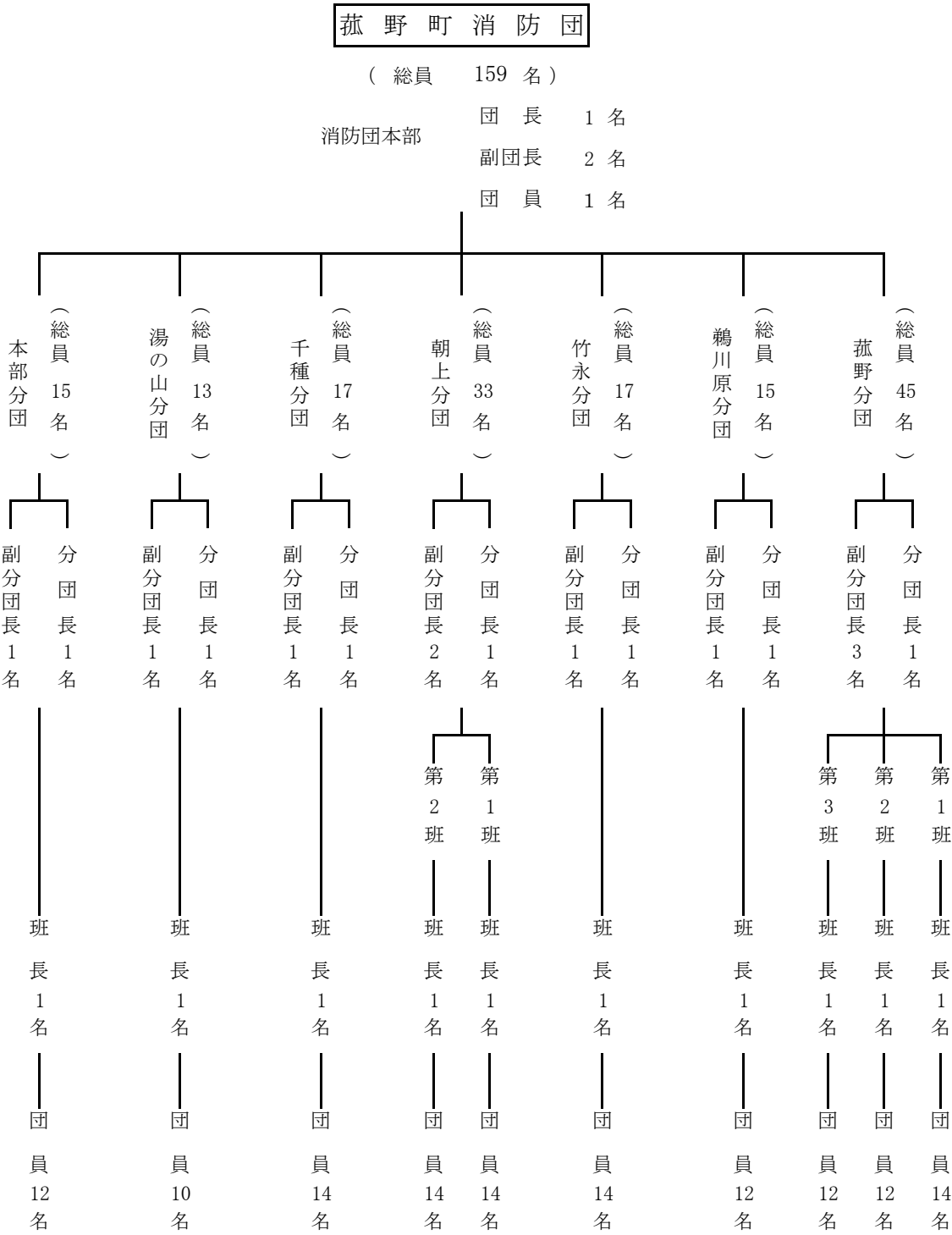
歴代消防団長(合併以降)

初代 服部 幸太郎	自 昭和32年 1月15日	至 昭和52年 4月 1日
二代 伊藤 正一	自 昭和52年 6月15日	至 昭和55年12月31日
三代 谷 善一	自 昭和56年 1月 1日	至 昭和58年12月31日
四代 辻 収	自 昭和59年 1月 1日	至 平成 7年 2月28日
五代 白木 一	自 平成 7年 3月 1日	至 平成17年 3月31日
六代 小林 幸治	自 平成17年 4月 1日	至 平成29年 3月31日
七代 増田 富雄	自 平成29年 4月 1日	至 平成29年11月21日
八代 服部 卓美	自 平成30年 1月 1日	現在に至る

消防団の機構、団員数

令和 7. 4. 1現在

菰野町消防団 分団数 7分団（10班）
団員定数 168名
現有団員数 159名



年齢別、階級別消防団員数

令和 7. 4. 1現在

年齢 \ 階級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員	合 計
18歳～20歳						1	1
21歳～25歳						14	14
26歳～30歳						26	26
31歳～35歳			2	2	4	33	41
36歳～40歳				2	4	32	38
41歳～45歳			1	3	1	18	23
46歳～50歳			2	3	1	3	9
51歳～55歳			2				2
56歳～60歳		1				1	2
61歳～65歳		1				1	2
66歳以上	1						1
合 計	1	2	7	10	10	129	159

平均年齢 35.8 歳

在職年数別消防団員数

令和 7. 4. 1現在

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	合 計
団 員 数	42	48	29	24	9	2	2	3	159

消防団員報酬

令和 7. 4. 1現在

階 級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員
年 間 報 酬 額 (円)	186,000	128,000	105,000	87,000	76,000	70,000

消防団員出動報酬

令和 7. 4. 1現在

項 目	災害出動	訓 練	警 戒	ポンプ 点検等	車両検査	立入検査
1 日 当 り の 報 酬 (円)	8,000	2,000	1,000	700	700	5,000

※災害出動については活動時間が4時間未満の場合は2分の1の額とする。

消防団員職業別構成数

令和 7. 4. 1現在

職 業	自営業	会社員	公務員	その他 (役員等)	合計
人 数	18	94	38	9	159

消防団消防車両配置状況

令和 7. 4. 1現在

区分 分団名	車 名	規格等	登 録 番 号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免 許 区 分
菰野分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す 715	H17. 2. 9	4, 770	4, 460	準中型
菰野分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800す7276	H23. 2. 14	2, 990	4, 730	準中型
菰野分団第3班	いすゞ	CD-I	三重800さ9007	H15. 12. 15	4, 770	4, 320	準中型
鵜 川 原 分 団	いすゞ	CD-I	三重800す5567	H21. 2. 3	2, 990	4, 620	準中型
竹 永 分 団	日野	CD-I	三重830さ4047	R 4. 2. 10	4, 000	4, 750	準中型
朝上分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す4668	H20. 2. 6	2, 990	4, 440	準中型
朝上分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800さ7399	H14. 12. 16	4, 770	4, 690	準中型
千 種 分 団	いすゞ	CD-I	三重830さ2410	R 6. 10. 7	2, 990	4, 990	準中型
湯 の 山 分 団	いすゞ	CD-I	三重830な1212	R 5. 3. 13	2, 990	4, 950	準中型
本 部 分 団	いすゞ	CD-I	三重830せ1702	H29. 2. 22	2, 990	4, 900	準中型
団 本 部	日産	付積	三重800せ 280	H27. 3. 26	2, 480	3, 220	普通
	トヨタ	付積	三重830な2002	R 2. 2. 21	2, 980	3, 160	普通
	日産	ワゴン	三重502ふ2380	H26. 11. 27	1, 590	1, 735	普通

※付積＝小型動力ポンプ付積載車

予 防



消防職員と消防団員が中心となり地域の皆さんに火災予防の大切さと消防団への理解を深めていただくため消防フェアを開催しました。地震体験車や模擬消火器での消火体験を通じて防災意識の向上を目指しています。

菰野町防火広報及び消防フェア

令和6年2月25日

於：イオンタウン菰野、町内一円

予 防

消防の業務で火災等の災害を未然に防止することも重要な仕事のひとつです。一般家庭に対しては、行事、講習会等を通じ防火意識の普及高揚を図り、事業所に対しては危険物の取扱い、消防用設備等の設置、維持、管理等について指導を行っています。

防火対象物現況

用 途			令和7. 4. 1現在			令和6. 4. 1現在		
			4階未満	4階以上	合 計	4階未満	4階以上	合 計
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	38		38	38		38
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ						
	ロ	遊 技 場 ダ ン ス ホ ー ル	4		4	4		4
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	1		1	1		1
3	イ	待 合 、 料 理 店						
	ロ	飲 食 店	41		41	42		42
4		百貨店、マーケット又は店舗	64		64	64		64
5	イ	旅 館 、 ホ テ ル 、 宿 泊 所	25	11	36	24	10	34
	ロ	寄 宿 舎 、 下 宿 又 は 共 同 住 宅	254	14	268	251	15	266
6	イ	病院、診療所又は助産所	19	2	21	18	2	20
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	21	4	25	18	4	22
	ハ	老人デイサービスセンター等	32		32	31		31
	ニ	幼稚園又は特別支援学校						
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校	36	2	38	36	2	38
8		図 書 館 、 博 物 館 、 美 術 館	4		4	4		4
9	イ	蒸 気 浴 場 、 熱 気 浴 場						
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場	3		3	3		3
10		車 両 の 停 車 場	2		2	2		2
11		神 社 、 寺 院 、 教 会	43		43	42		42
12	イ	工 場 又 は 作 業 場	194	7	201	189	7	196
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
13	イ	自 動 車 車 庫 又 は 駐 車 場	24		24	24		24
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14		倉 庫	129	3	132	119	3	122
15		前各項に該当しない事業場	144	4	148	142	4	146
16	イ	特定複合用途防火対象物	43	1	44	44	1	45
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	26	3	29	26	3	29
合 計			1, 147	51	1, 198	1, 122	51	1, 173

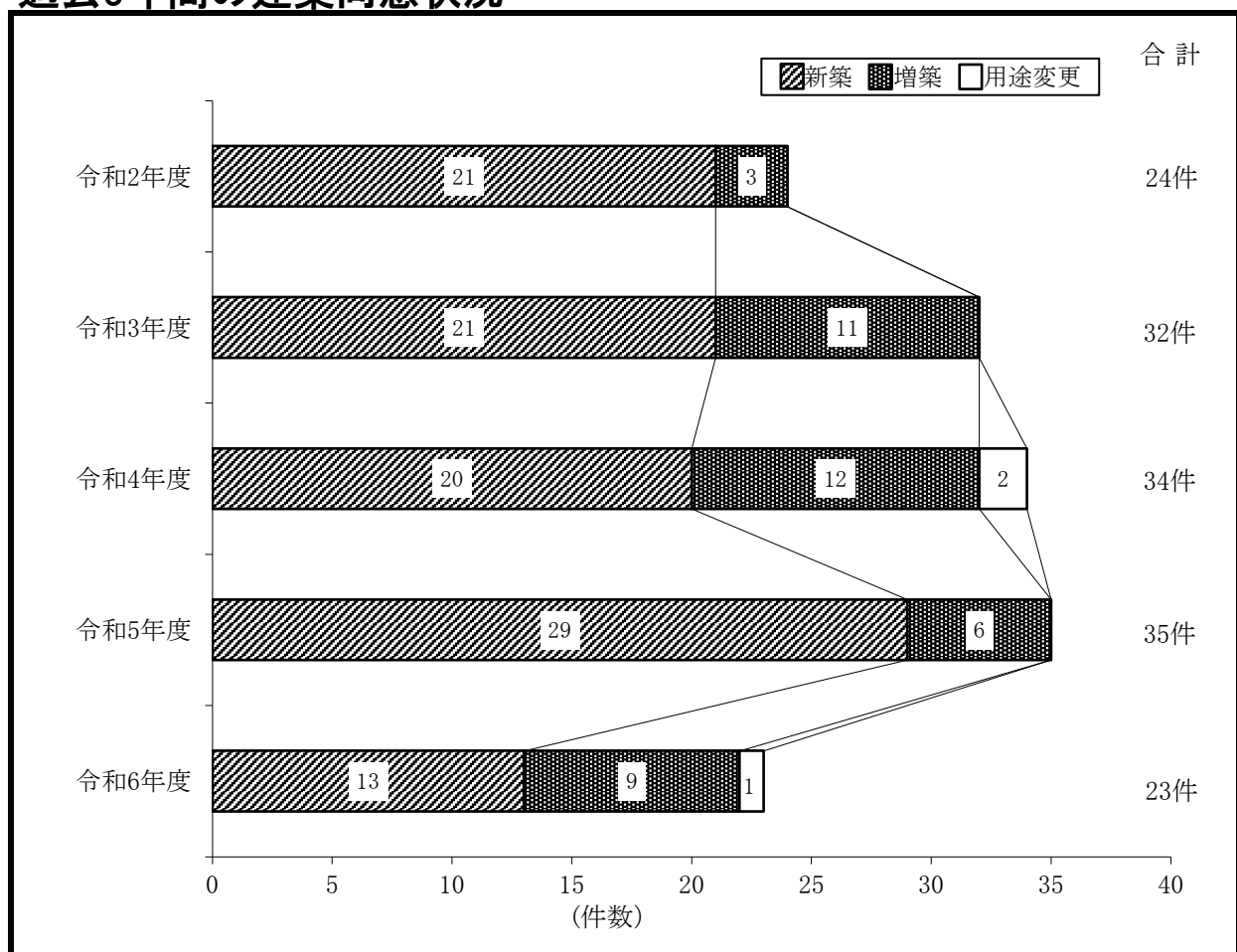
用途別建築同意状況

月 別			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	6年度 合 計	5年度 合 計
用 途																
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場														
	ロ	公会堂又は集会場														
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ														
	ロ	遊技場 ダンスホール														
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等														
	ニ	カラオケボックス等														
3	イ	待合、料理店														
	ロ	飲食店														1
4		百貨店、マーケット又は店舗														2
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所														1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	1											2	3	1
6	イ	病院、診療所又は助産所														3
	ロ	老人短期入所施設等			1										1	
	ハ	老人デイサービスセンター等														3
	ニ	幼稚園又は特別支援学校														
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校														
8		図書館、博物館、美術館														
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場														
	ロ	イ以外の公衆浴場														
10		車両の停車場														
11		神社、寺院、教会														
12	イ	工場又は作業場	2	2	1	1	1			1					8	8
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ														
13	イ	自動車車庫又は駐車場														
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫														
14		倉庫								1					1	2
15		前各項に該当しない事業場	1		1		1						1		4	5
16	イ	特定複合用途防火対象物										1			1	
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物														
その他		住 宅					2							1	3	5
		そ の 他											2		2	4
合 計			4	2	3	1	4			2		1	3	3	23	35

工事別建築同意状況

工事種別 区分	新 築	増 築	改 築	用 途 変 更	そ の 他	令和6年度 合 計	令和5年度 合 計
同 意	13	9		1		23	35
不 同 意							
合 計	13	9		1		23	35

過去5年間の建築同意状況



危険物施設現況

製造所等の別 区分		製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所						令和 6 年度 合計	令和 5 年度 合計
			小 計	屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	小 計	給 油		第一種販売	第二種販売	一 般		
												営 業 用	自 家 用					
倍 数 別	検査済施設数	1	125	39	17	4	30	2	29	4	55	15	18		1	21	181	176
	5倍以下		57	13	4	4	21	2	11	2	10		2			8	67	65
	5倍超10倍以下		22	4	8		7		1	2	7		1			6	29	28
	10倍超50倍以下	1	17	2	4		2		9		24	2	15		1	6	42	45
	50倍超100倍以下		10	2	1				7		3	2				1	13	10
	100倍超150倍以下		5	4					1		2	2					7	9
	150倍超200倍以下		2	2							2	2					4	4
	200倍超1,000倍以下		7	7							7	7					14	13
	1,000倍超		5	5													5	2
類 別	第 1 類		1	1													1	1
	第 2 類																	
	第 3 類																	
	第 4 類	1	123	37	17	4	30	2	29	4	55	15	18		1	21	179	174
	第 5 類		1	1													1	1
	第 6 類																	
	混 在																	

危険物施設許可認可状況

区分 製造所等の別		許 可				完 成 検 査				仮使用承認		廃 止 届	
		設 置		変 更		設 置		変 更					
		6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度
製 造 所													
貯 蔵 所	屋 内		6	4	2	5	1		2		1		1
	屋外タンク												
	屋内タンク												
	地下タンク											2	1
	簡易タンク												
	移動タンク			3	4			3	4				1
	屋 外												
取 扱 所	給 油			4	4			4	4	4	3		
	第一種販売												
	第二種販売												
	一 般			6	4			5	2	5	4	1	1
合 計			6	17	14	5	1	12	12	9	8	3	4

各種届出処理状況

区 分	件 数		区 分	件 数	
	令和 6年度	令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度
防 火 管 理 者 選 解 任 届	64	51	蓄 電 池 設 備 設 置 届	3	
消 防 計 画 作 成 届	73	63	ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届		
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	361	381	水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球 設 置 届		
液 化 石 油 ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 届	16	6	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	9	11
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	29	40	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	2	
消 防 訓 練 実 施 届	203	171	毒 物 、 劇 物 貯 蔵 取 扱 届		1
炉 設 置 届	1		火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 届	69	63
ボ イ ラ ー 設 備 等 設 置 届	4	6	煙 火 (打 上 げ 、 仕 掛 け) 届	4	8
発 電 設 備 設 置 届	3		消 防 用 設 備 等 着 工 届	52	52
変 電 設 備 設 置 届	10	10	消 防 用 設 備 等 設 置 届	47	57
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	26	33	露 店 等 の 開 設 届	46	43

消防用設備等設置検査実施状況

区 分	件 数	
	令 和 6 年 度	令 和 5 年 度
検 査 済 証	32	39

広報、啓発活動状況

令和6年度

区 分		回 数 等	延べ対象者数等
消 防 広 場 （ 菰 野 町 文 化 祭 ）		1回	約 350人
消 防 フ ェ ア		1回	約 300人
庁 舎 見 学		11回	484人
訓 練 指 導		36回	1,352人
一 人 暮 ら し 高 齢 者 防 火 訪 問		20回	20人
巡 回 広 報		11回	町内全域
防 火 だ よ り の 発 刊		2回	27,800部
写 生 大 会		1回	60人
防 火 書 道 コ ン ク ー ル		1回	434人
広報印刷物等	ポ ス タ ー		950枚
	チ ラ シ		400枚
	広 報 こ も の	9回	120,816部
	お 知 ら せ 版	13回	174,512部
そ の 他	の ぼ り	28日間	120本
	懸 垂 幕	21日間	3枚
	横 断 幕	28日間	10枚
	防 災 ラ ジ オ 放 送	21回	12,855台

【令和7年度全国統一防火標語】

「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

【令和7年度危険物安全週間推進標語】

「危険物 無事故へ挑む ゴング鳴る」

火災



福祉施設で火災が発生した際に、迅速な活動ができるよう春の特別消防訓練を実施しました。利用者の安全確保を最優先に施設職員による初期消火、避難誘導、通報手順などを重点的に確認しました。

春の火災予防運動に伴う特別消防訓練
令和6年2月27日
於：救護施設 菰野千草園

火 災

令和6年中は11件の火災が発生し、これら全火災での損害額は1,549千円でした。

火災件数は前年に比べて4件減少しています。特に建物火災の発生がなく、火災による損害額も例年に比べて低くなっています。

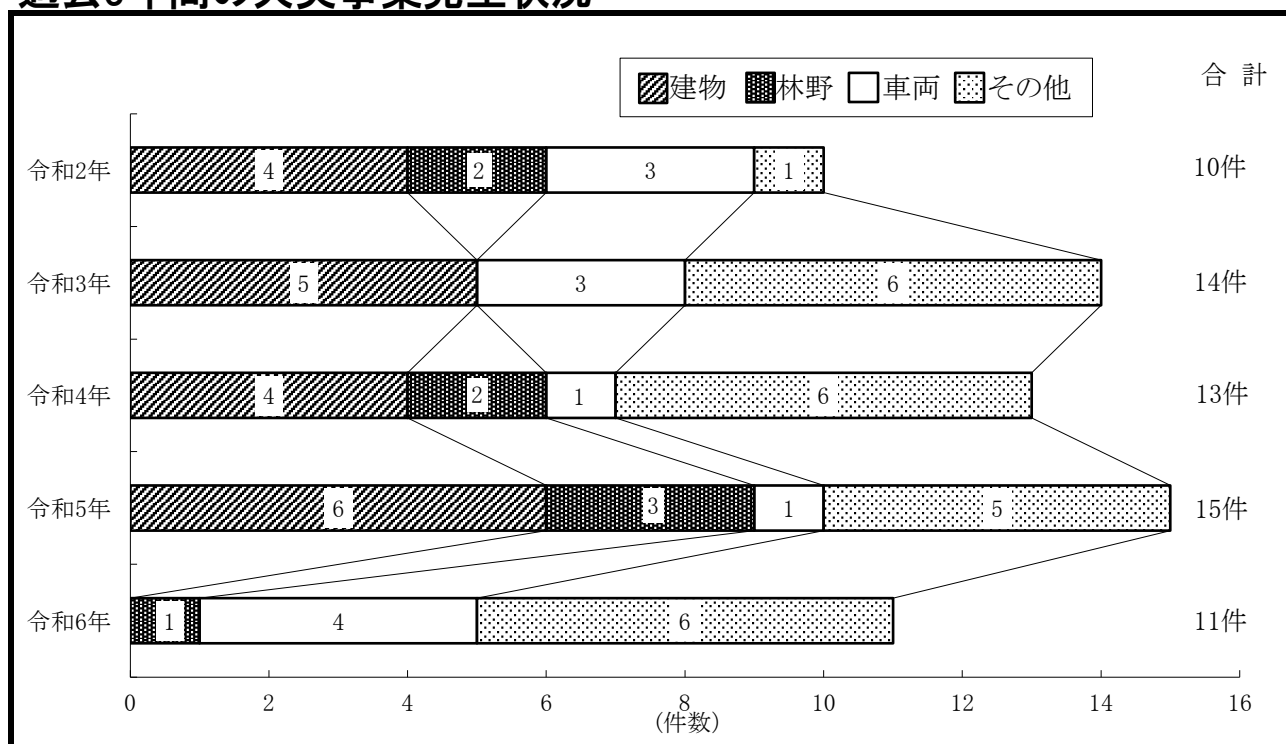
火災事案発生状況

年 別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
区 分						
全 国	火 災 件 数	34,691	35,222	36,314	38,672	
	出 火 率	2.7	2.8	2.9	3.1	
	1件当り損害額(千円)	2,990	2,959	2,802	2,436	
三重県	火 災 件 数	615	621	617	690	
	出 火 率	3.4	3.5	3.5	3.9	
	1件当り損害額(千円)	2,387	2,214	2,740	1,985	
菰野町	火 災 件 数	10	14	13	15	11
	出 火 率	2.4	3.4	3.2	3.6	2.7
	1件当り損害額(千円)	3,531	566	1,576	499	141

※出火率＝人口1万人あたりの出火件数

菰野町人口 40,758人(令和6年12月31日現在)

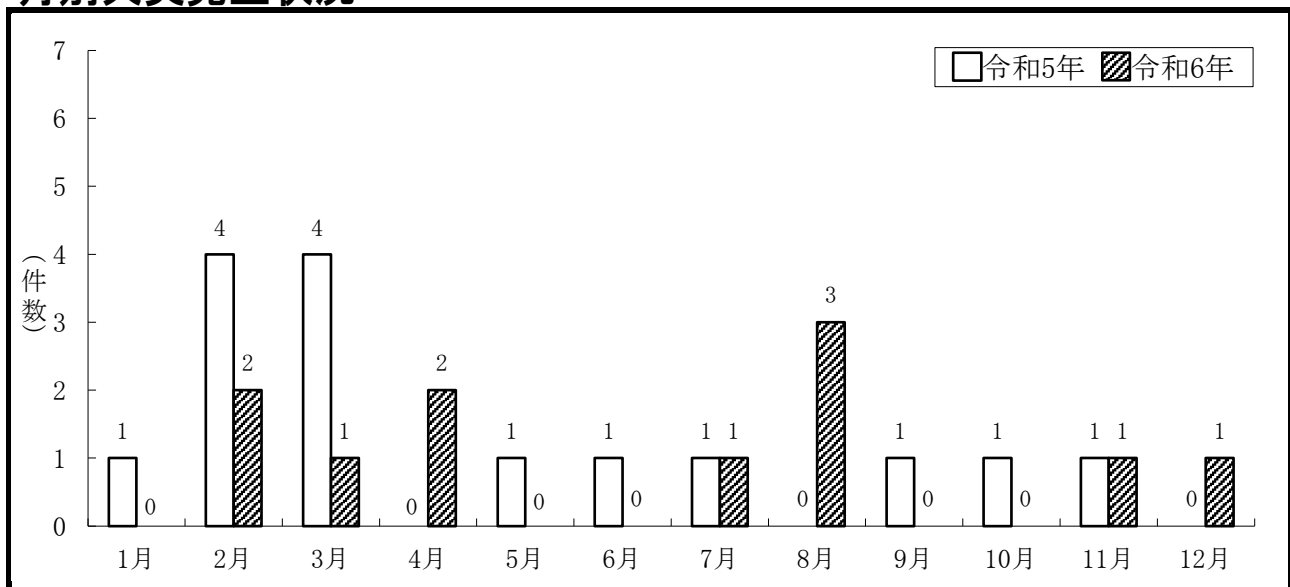
過去5年間の火災事案発生状況



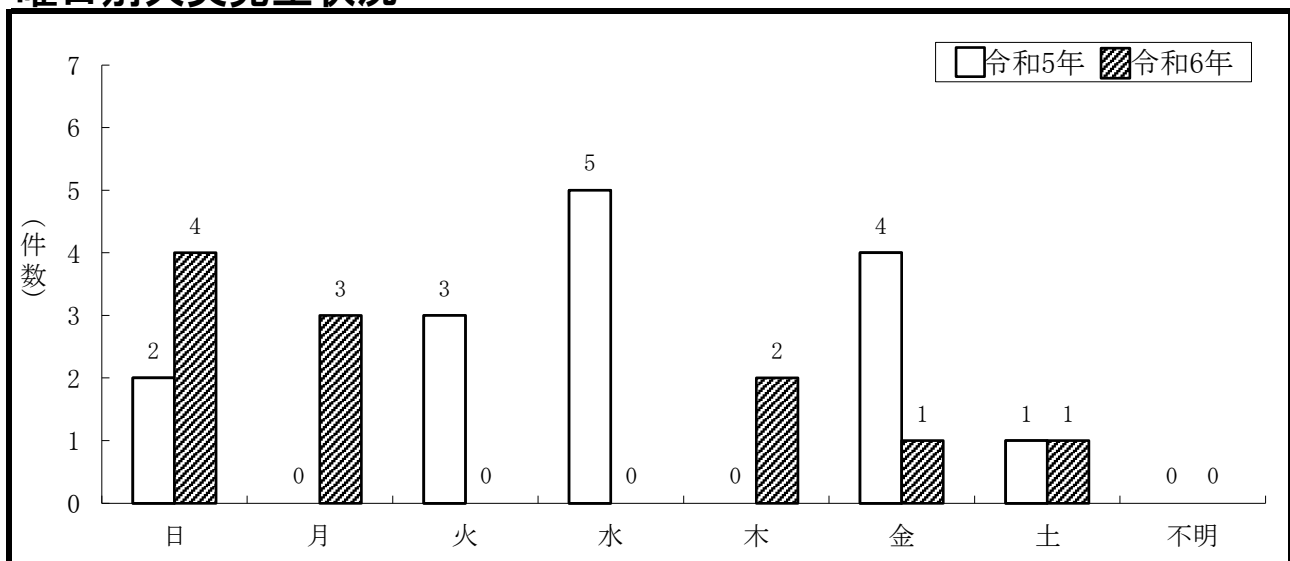
地区別火災発生状況

区分 地区	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り災世帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災			全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合 計			死 者	負 傷 者
菰野	4			2	2									632		
鵜川原	5			2	3									917		
竹永	1				1											
朝上	1		1				3									
千種																
合計	11		1	4	6		3							1,549		

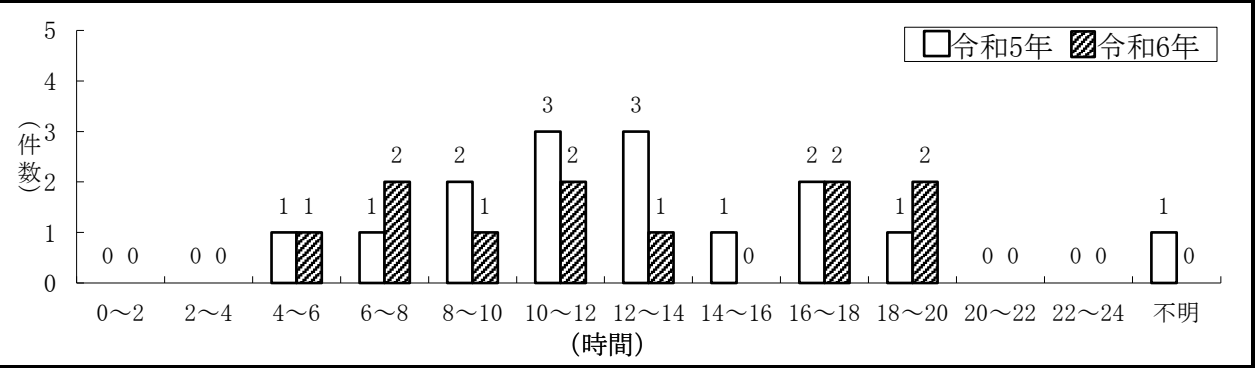
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



火災出動状況

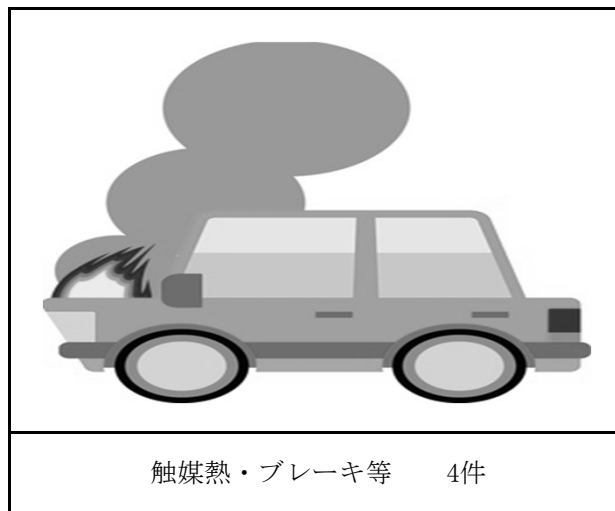
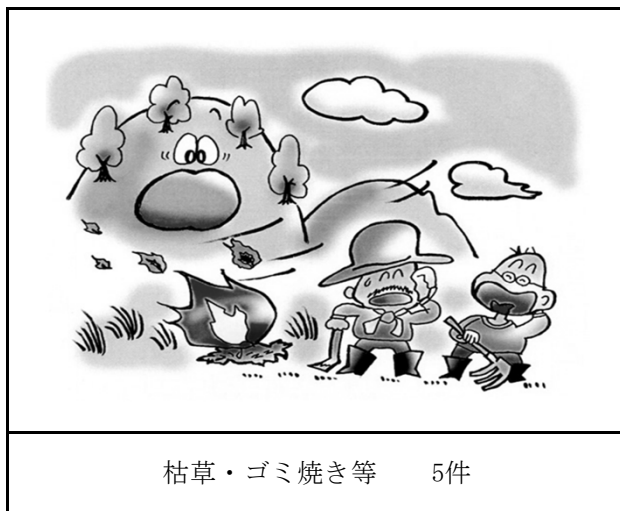
種別 区分	火 災					非 火 災				管外
	建 物	林 野	車 両	その他	計	警 戒	誤 報 誤 認 虚 報	その他	計	
署単独出動				2	2	29	1	1	31	
第 1 出 動		1	3	4	8					
第 2 出 動										
第 3 出 動										
事 後 聞 知			1		1					
合 計		1	4	6	11	29	1	1	31	

火災出動区分詳細

火災種別	出動区分	消防本部・消防署出動車両	消防団出動車両
建物 航空機 危険物施設	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4～5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団11車両
林野	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4～5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団11車両
車両 特殊車両 危険物車両	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 本部分団 2～3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4～5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団11車両
枯草 その他	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 本部分団 2～3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4～5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団11車両
中高層	第1出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4～5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	全分団11車両
トンネル (高速道路)	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
事後聞知		タンク車 指揮車 1～2車両	

※高速道路内の火災は原則として消防団は出動しない。

絵で見る火災原因（11件）



令和6年は建物火災が0件でした。昭和60年に消防署を開設してから、建物火災が1年間で発生しなかったことは、はじめてでした。

全国的主要な出火原因(上位10位)

令和5年中

順位	出火原因（割合）	順位	出火原因（割合）
1	たばこ（9.0％）	6	火入れ（5.6％）
2	たき火（9.0％）	7	放火の疑い（4.2％）
3	こんろ（7.3％）	8	電灯電話等の配線（3.9％）
4	放火（6.5％）	9	配線器具（3.8％）
5	電気機器（5.7％）	10	ストーブ（2.6％）

令和6年版消防白書

救急、救助



実際の山岳地帯や取り壊し予定の建物を利用させていただき、普段行っている消防署以外の場所で訓練を行っています。実践的な技術を磨き、あらゆる現場での対応力の向上を目指しています。

山岳救助訓練

通年

於：町内山岳地帯

救 急

令和6年中の救急出動件数は1,765件、搬送人員は1,690人でした。1日あたり平均4.8件の出動で、町民23人に1人の割合で救急車が利用されたことになります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が1,187件(67.3%)で最も多く、続いて一般負傷が297件(16.8%)、交通が162件(9.2%)、その他が119件(6.7%)となりました。

救急件数は昨年に比べて大きな増減はありませんでしたが、交通が38件増加しました。

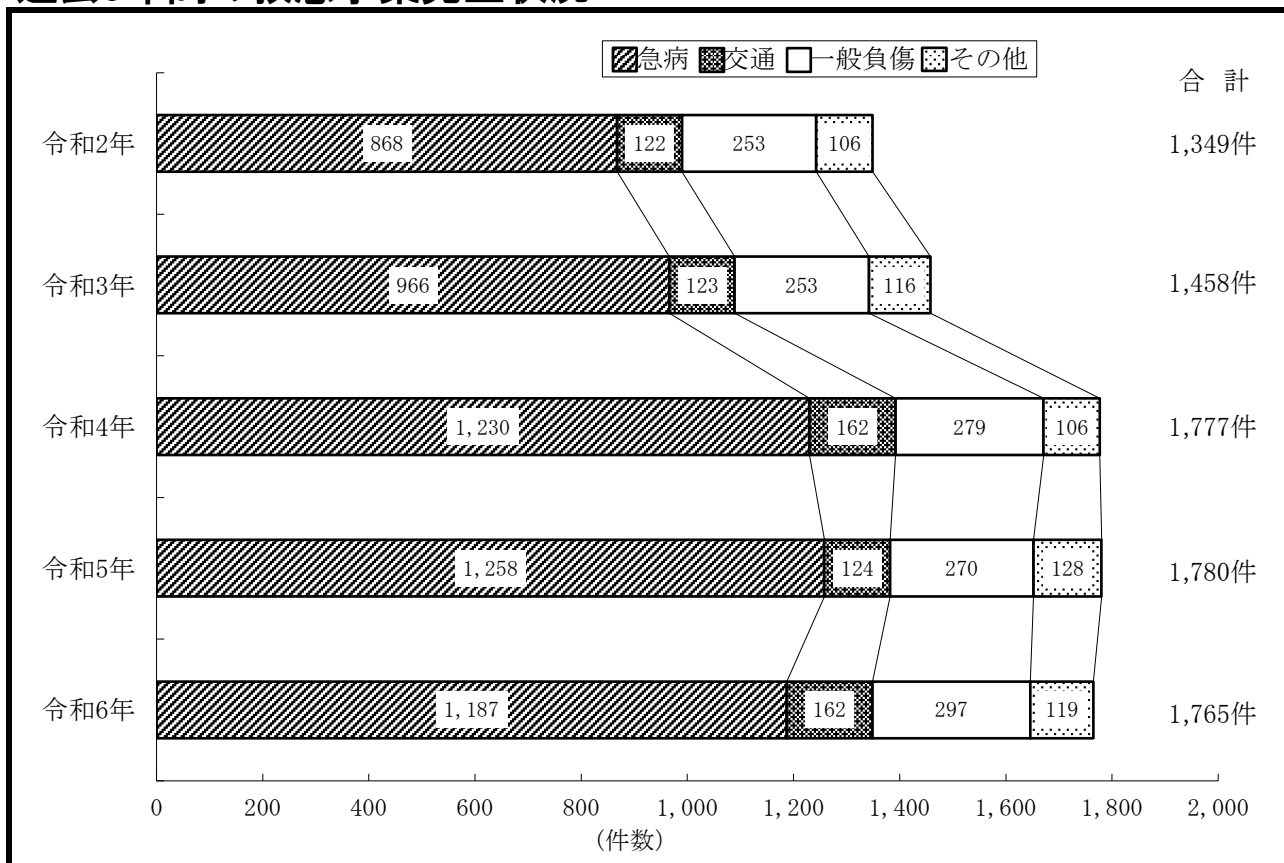
救急事案発生状況

区 別		年 別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
全 国	救急件数		5,933,277	6,193,581	7,229,572	7,638,558	
	発 生 率		471	491	573	606	
三 重 県	救急件数		87,314	90,460	107,157	112,538	
	発 生 率		493	511	605	636	
菰 野 町	救急件数		1,349	1,458	1,777	1,780	1,765
	発 生 率		324	352	430	434	433

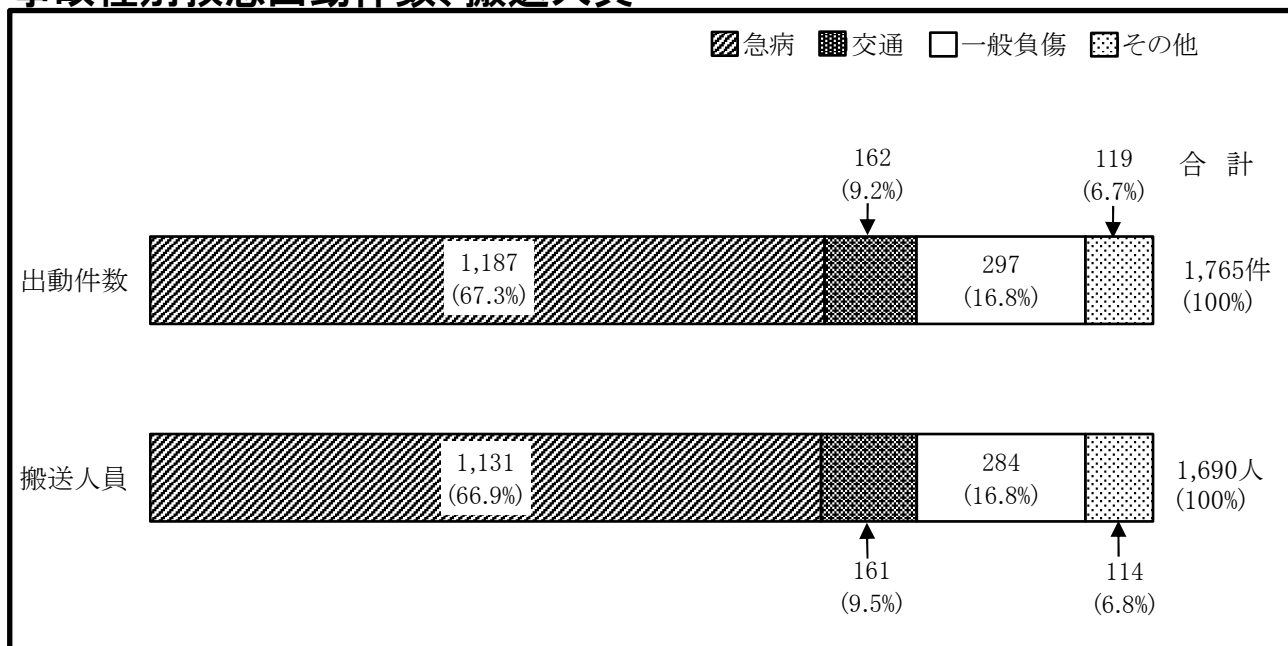
※発生率＝人口1万人あたりの発生件数

菰野町人口 40,758人(令和6年12月31日現在)

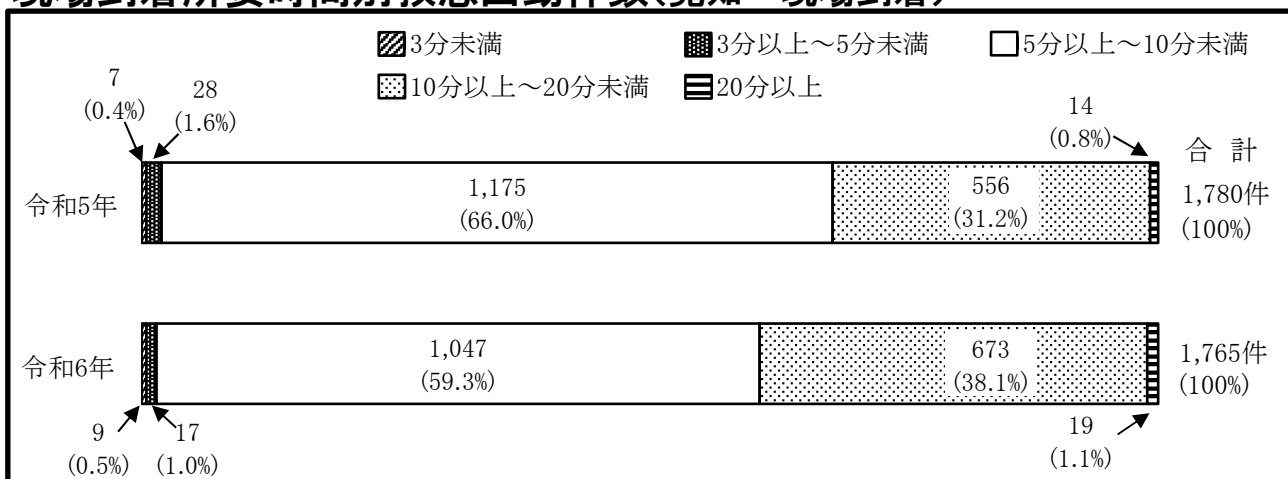
過去5年間の救急事案発生状況



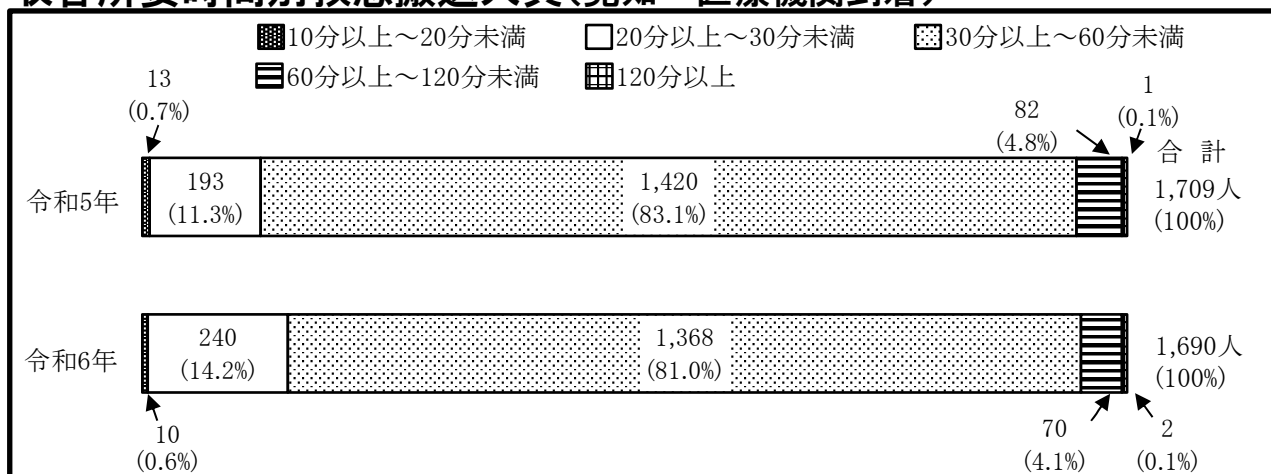
事故種別救急出動件数、搬送人員



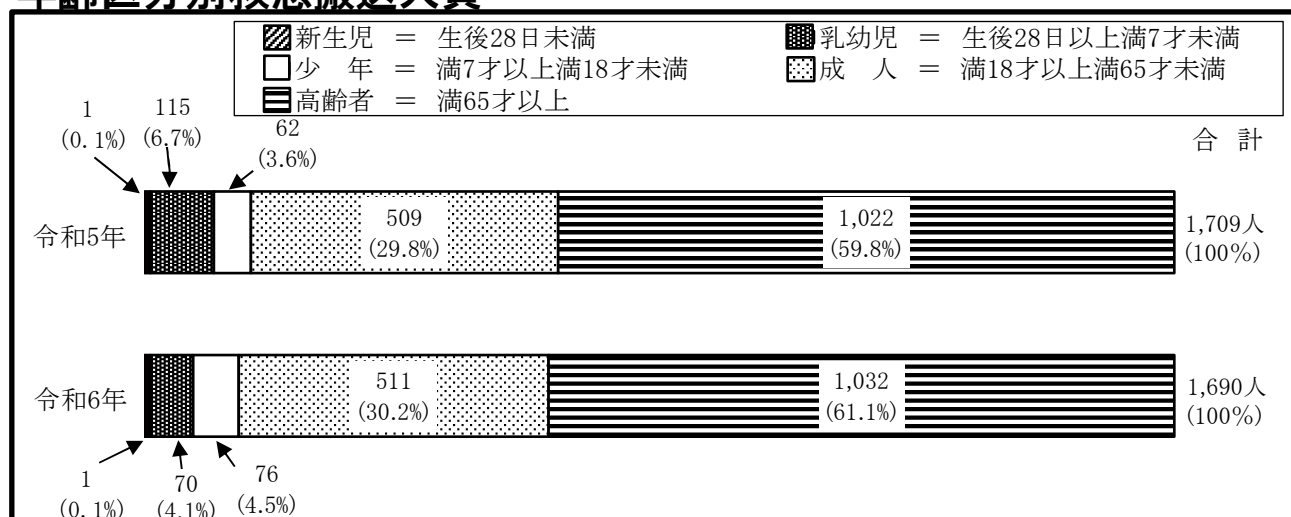
現場到着所要時間別救急出動件数(覚知～現場到着)



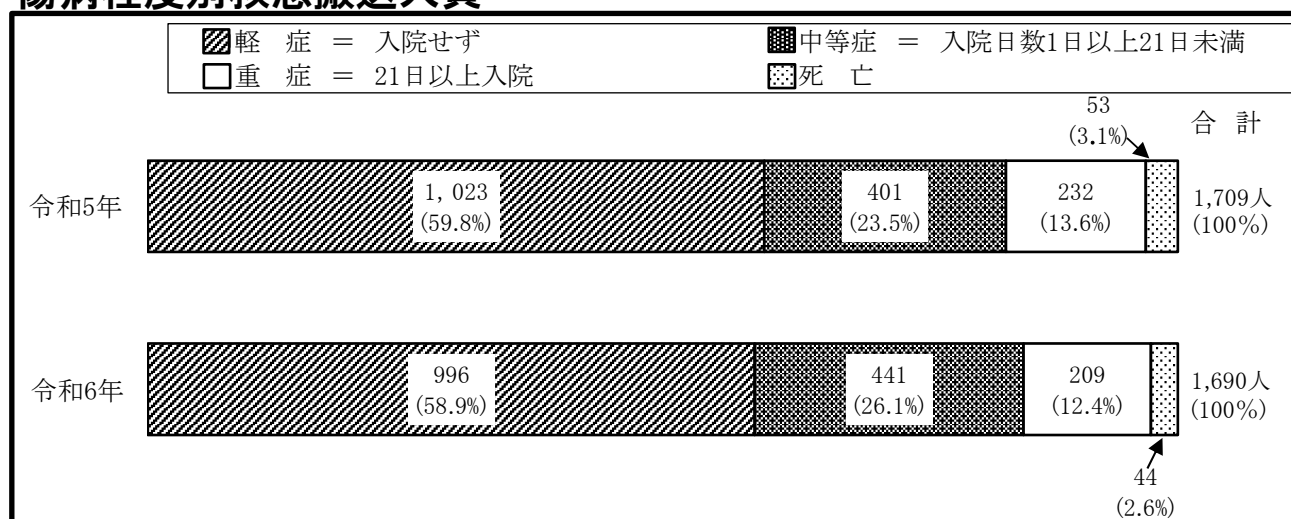
収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



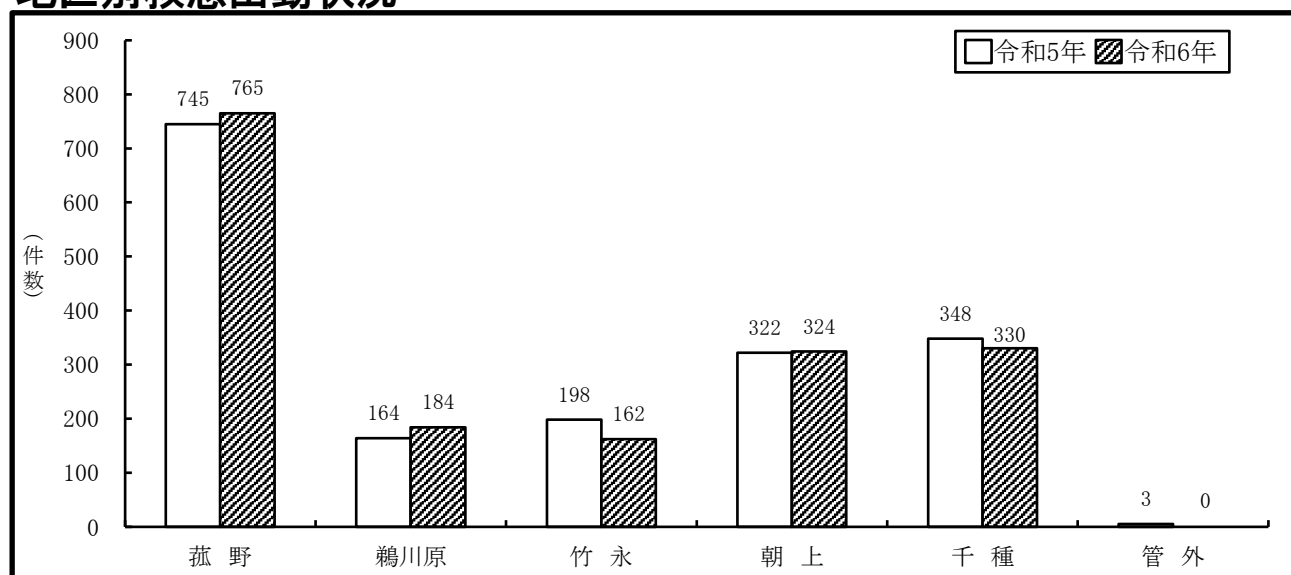
年齢区分別救急搬送人員



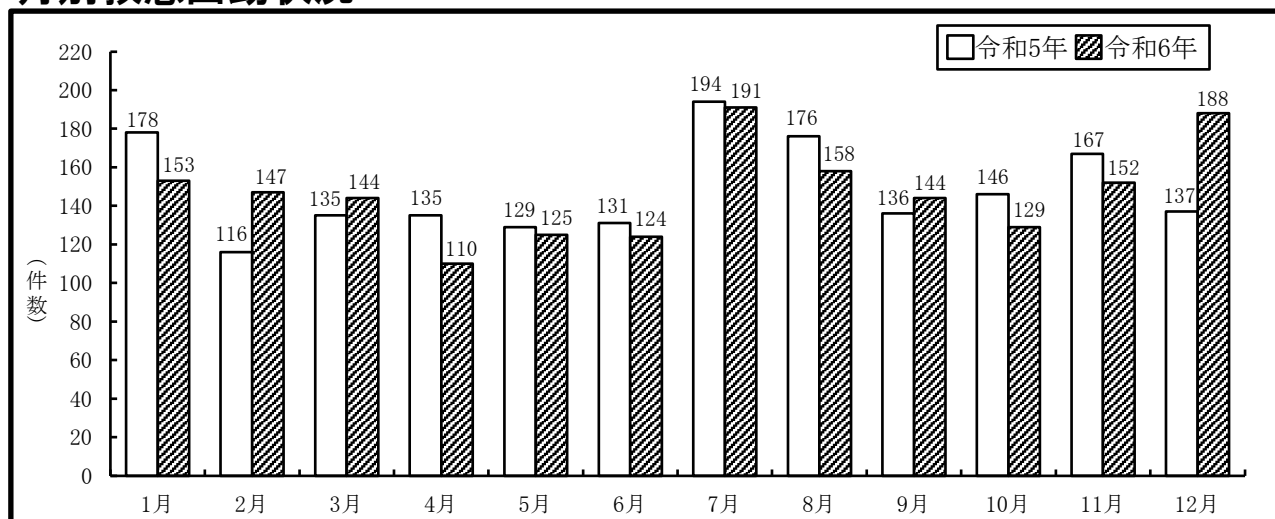
傷病程度別救急搬送人員



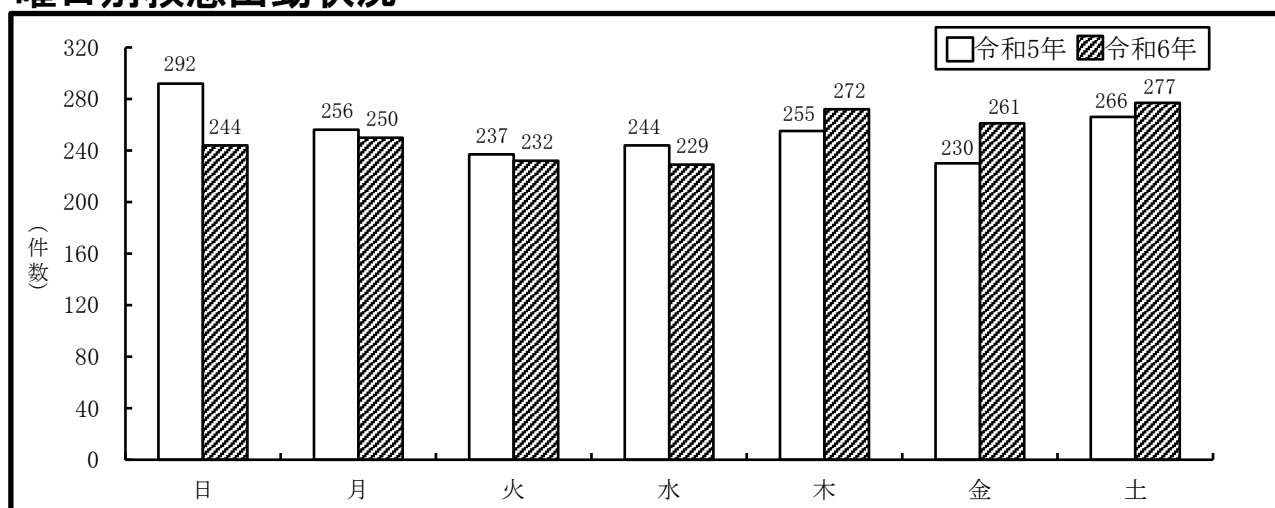
地区別救急出動状況



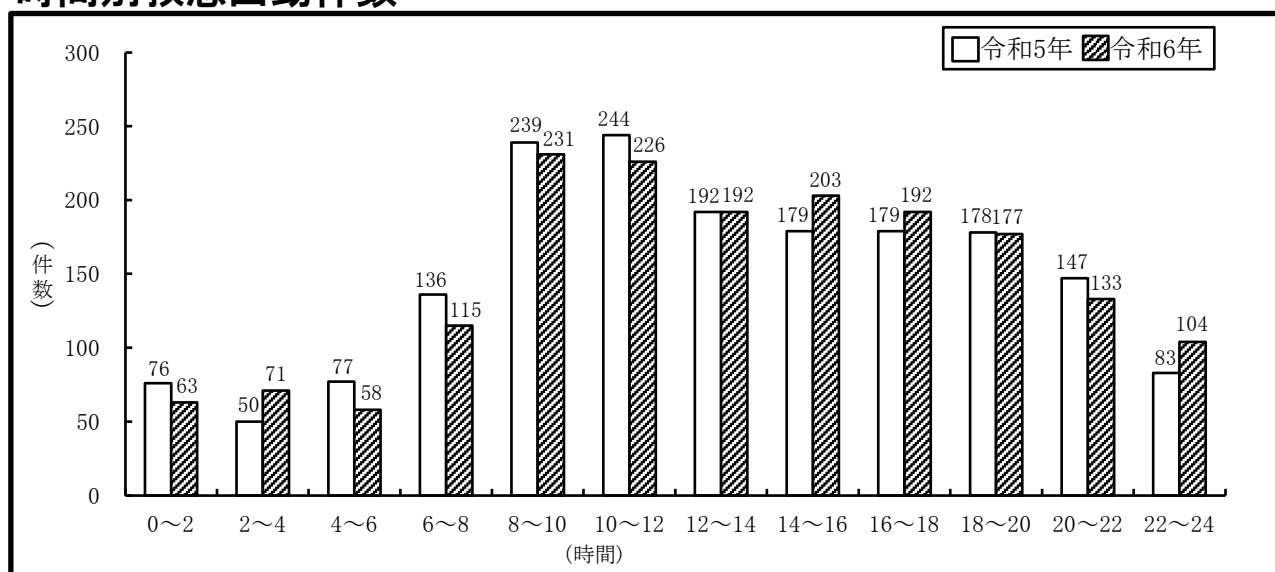
月別救急出動状況



曜日別救急出動状況



時間別救急出動件数



年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新 生 児	乳 幼 児	少 年	成 人	高 齢 者	令和6年 合計	令和5年 合計
死 亡		1	1	11	31	44	53
重 症			4	41	164	209	232
中 等 症		9	12	85	335	441	401
軽 症	1	60	59	374	502	996	1,023
そ の 他							
合 計	1	70	76	511	1,032	1,690	1,709

事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和6年 合計	令和5年 合計
新 生 児										1		1	1
乳 幼 児				1			20			49		70	115
少 年				20	1	7	13		1	32	2	76	62
成 人			1	95	23		52	1	4	315	20	511	509
高 齢 者				45	4		199	2	1	734	47	1,032	1,022
合 計			1	161	28	7	284	3	6	1,131	69	1,690	1,709

事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和6年 合計	令和5年 合計
死 亡			1	3			5		1	34		44	53
重 症				9	4	1	46		2	118	29	209	232
中 等 症				12	6	1	51			336	35	441	401
軽 症				137	18	5	182	3	3	643	5	996	1,023
そ の 他													
合 計			1	161	28	7	284	3	6	1,131	69	1,690	1,709

事故種別、時間別救急出動件数

事故種別 区分		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	令和6年 合計	令和5年 合計
休 日					25	1	3	53	1	1	242	2	328	377
休日以外の日				1	137	27	4	244	2	7	945	70	1,437	1,403
時 間 内 訳	0～2				3			4		1	55		63	76
	2～4				2			11			58		71	50
	4～6				8			5			45		58	77
	6～8				11	1		22			80	1	115	136
	8～10				18	5		41		1	151	15	231	239
	10～12				19	3	4	50			136	14	226	244
	12～14				16	3	2	32		2	123	14	192	192
	14～16				21	5		37			131	9	203	179
	16～18			1	30	6	1	36	1	3	104	10	192	179
	18～20				21	5		21	1		122	7	177	178
	20～22				4			27			100	2	133	147
	22～24				9			11	1	1	82		104	83
令和6年計				1	162	28	7	297	3	8	1,187	72	1,765	
令和5年計		2			124	33	3	270	4	16	1,258	70		1,780

事故種別、応急処置件数

事故種別 応急処置	急 病	交 通	一般負傷	そ の 他	合 計
止 血	11	26	79	12	128
固 定	29	108	102	17	256
人工呼吸	2	1	2		5
心肺蘇生	32	3	6	2	43
酸素吸入	265	12	12	25	314
気道確保	48	3	8	2	61
気道確保（特定行為）	7	1			8
保 温	131	15	28	11	185
被 覆	11	33	89	11	144
除 細 動	4				4
静脈路確保	38	3	2	1	44
薬剤投与	23	1	2	1	27
ブドウ糖投与	1				1
そ の 他	4,277	558	966	399	6,200
合 計	4,879	764	1,296	481	7,420

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上

※その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等を計上

事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別 開設別		急 病		交 通		一般負傷		そ の 他		令和6年合計		令和5年合計	
				う ち 管 外		う ち 管 外		う ち 管 外		う ち 管 外		う ち 管 外		う ち 管 外
救急告示医療機関	国 立												3	3
	公 立		667	667	85	85	146	146	78	78	976	976	1,075	1,075
	公 的		388	103	68	29	132	30	32	13	620	175	554	186
	私 的	病 院	66	66	7	7	6	6	2	2	81	81	67	67
		診 療 所												
	計		1,121	836	160	121	284	182	112	93	1,677	1,232	1,699	1,331
その他の医療機関	国 立													
	公 立													
	公 的												1	1
	私 的	病 院	6	6					2	2	8	8	7	7
		診 療 所	4	3	1						5	3	2	1
	計		10	9	1				2	2	13	11	10	9
計	国 立												3	3
	公 立		667	667	85	85	146	146	78	78	976	976	1,075	1,075
	公 的		388	103	68	29	132	30	32	13	620	175	555	187
	私 的	病 院	72	72	7	7	6	6	4	4	89	89	74	74
		診 療 所	4	3	1						5	3	2	1
	計		1,131	845	161	121	284	182	114	95	1,690	1,243	1,709	1,340
その他の場所	接骨院等													
	そ の 他													
	計													
令和6年計			1,131	845	161	121	284	182	114	95	1,690	1,243		
令和5年計			1,200	950	131	97	258	188	120	105			1,709	1,340

救 助

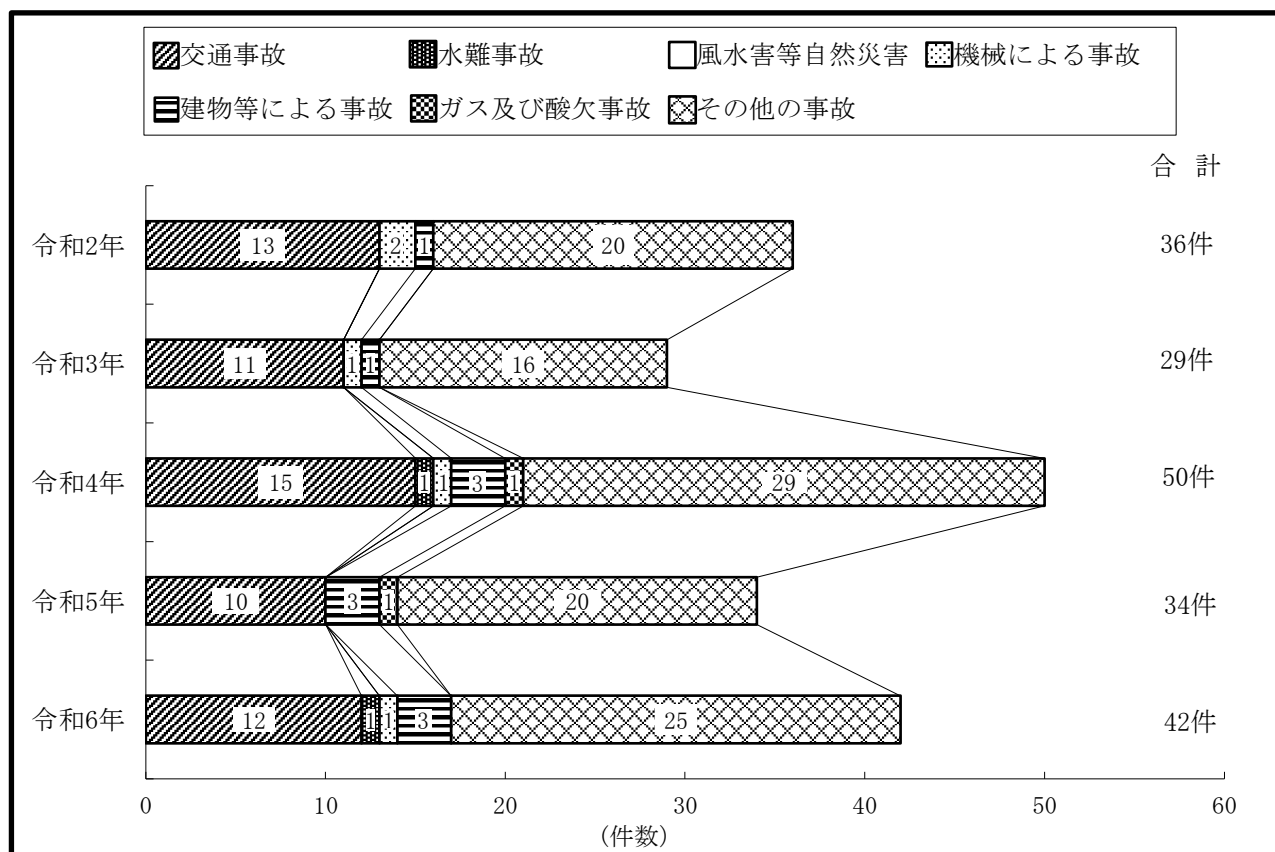
令和6年中の救助出動件数は42件、救助人員は28人でした。

救助件数を事故種別で見ると、その他の事故25件(うち山岳救助20件)が最も多く、交通事故が12件、建物等による事故が3件、水難事故が1件、機械による事故が1件となりました。

救助事案発生状況

区 別 \ 年 別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
全 国	救助出動件数	93,989	99,395	108,515	115,572	
	救助活動件数	59,977	63,198	68,123	71,707	
	救助人員	57,952	59,861	62,679	66,815	
三 重 県	救助出動件数	878	930	983	1,030	
	救助活動件数	575	637	663	679	
	救助人員	633	702	721	725	
菰 野 町	救助出動件数	36	29	50	34	42
	救助活動件数	25	23	32	24	27
	救助人員	26	31	33	47	28

過去5年間の救助事案発生状況



事故種別、救助出動件数、救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風水害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破 裂 事 故	その他 の事故	令 和 6 年 合 計	令 和 5 年 合 計
	建 物	他										
出 動 件 数			12	1		1	3			25	42	34
救 助 人 員			5	1		1	2			19	28	47

事故種別、救助出動人員

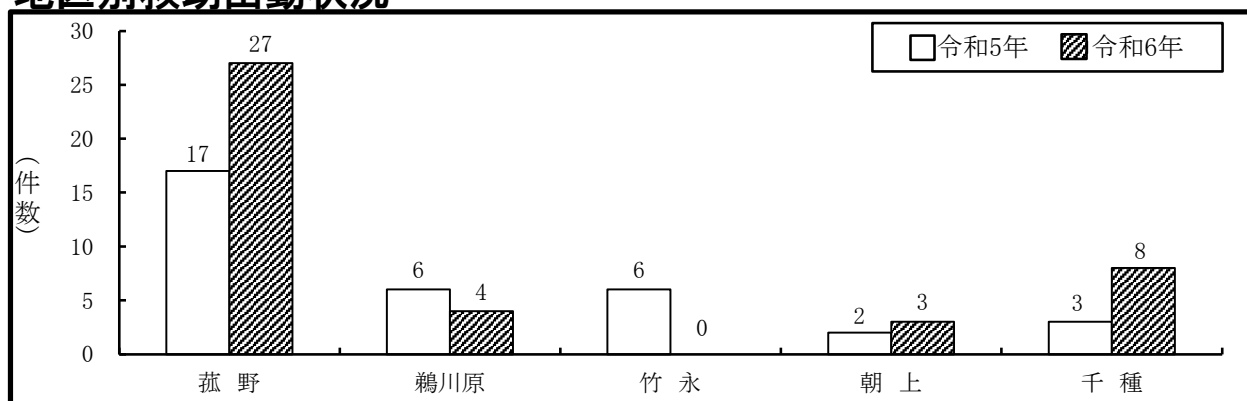
種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風水害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破 裂 事 故	その他 の事故	令 和 6 年 合 計	令 和 5 年 合 計
	建 物	他										
救 助 隊 員			45	4		4	12			111	176	147
消 防 隊 員			15	8						2	25	13
救 急 隊 員			42	3		3	9			24	81	81
合 計			102	15		7	21			137	282	241

事故種別、救助出動車両

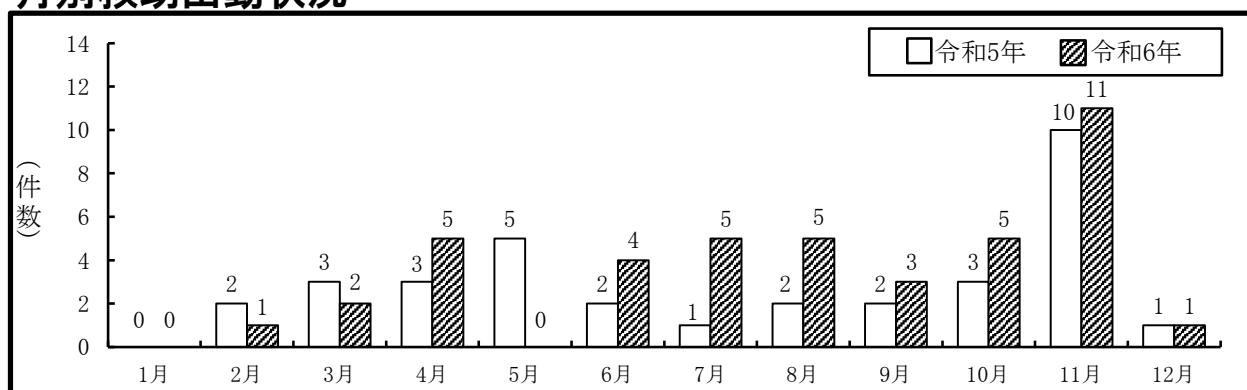
種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風水害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破 裂 事 故	その他 の事故	令 和 6 年 合 計	令 和 5 年 合 計
	建 物	他										
救 助 工 作 車			12	1		1	3			5	22	19
タ ン ク 車												1
ポ ン プ 車			6								6	5
救 急 車			14	1		1	3			8	27	26
指 揮 車				1						1	2	2
広 報 車										19	19	15
資機材搬送車				1							1	2
その他の車両				1						4	5	1
合 計			32	5		2	6			37	82	71

※その他の車両とは、査察車、小型動力ポンプ付積載車、防災広報車

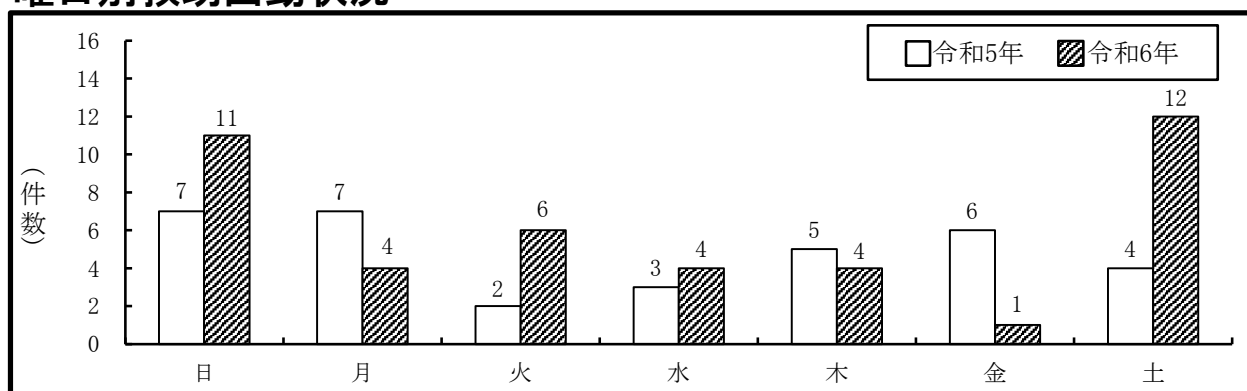
地区別救助出動状況



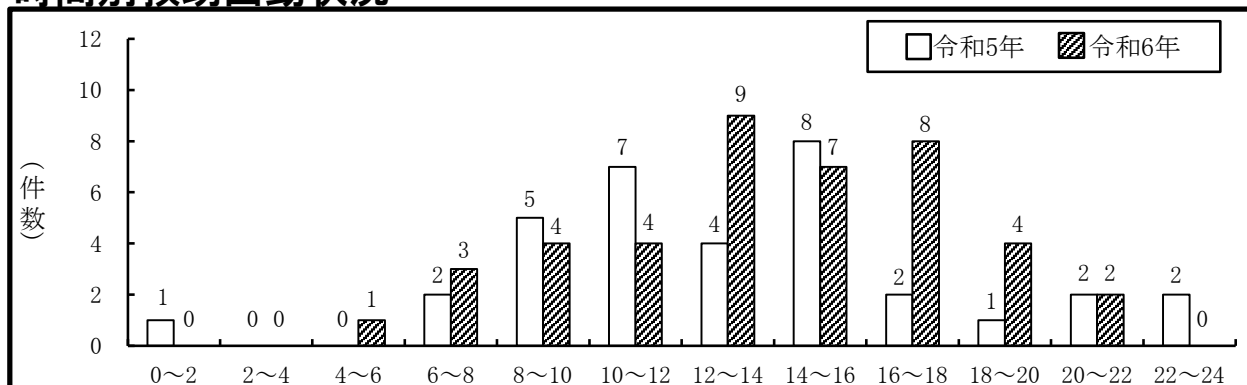
月別救助出動状況



曜日別救助出動状況



時間別救助出動状況

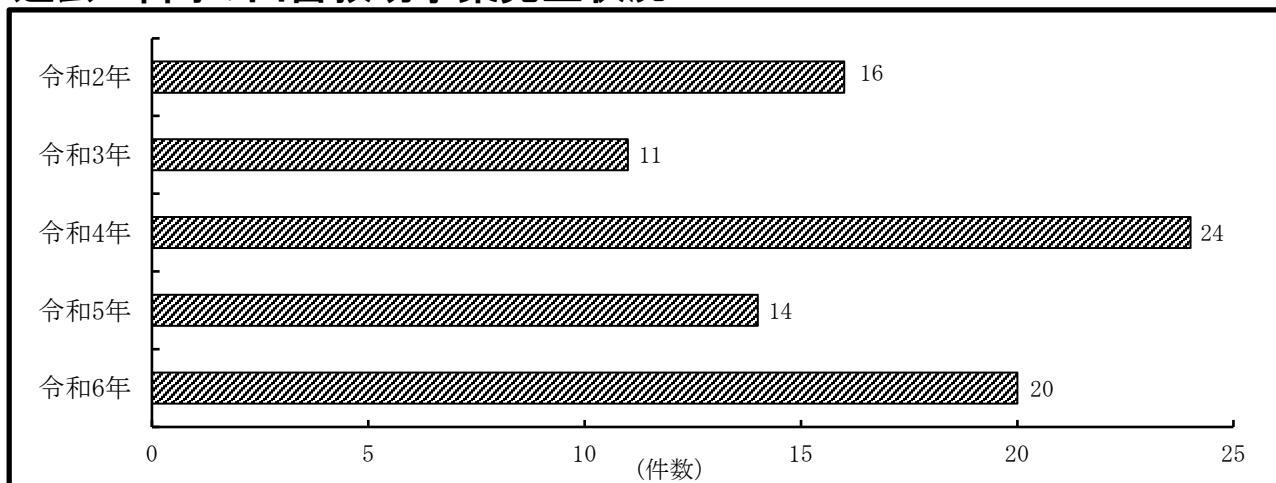


山岳救助

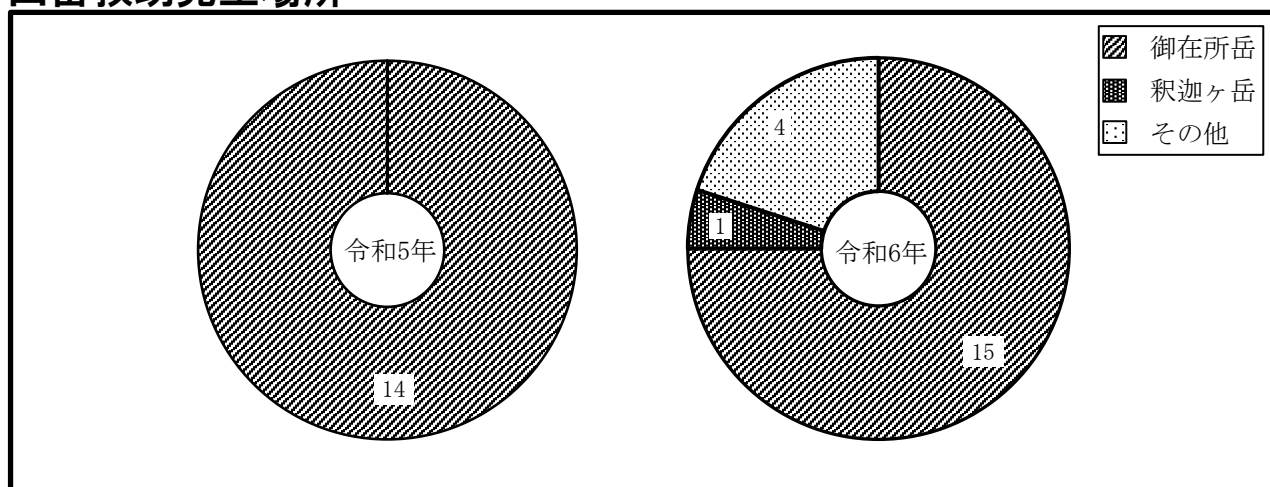
当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから年間を通して山岳救助事案が多く発生しており、令和6年は20件の山岳救助出動でした。

山岳救助事案の半数が防災ヘリコプターと連携し救助活動を行います。山岳救助の出動から救助完了までの平均活動時間は3時間41分であり、最長活動時間は18時間49分を要しました。

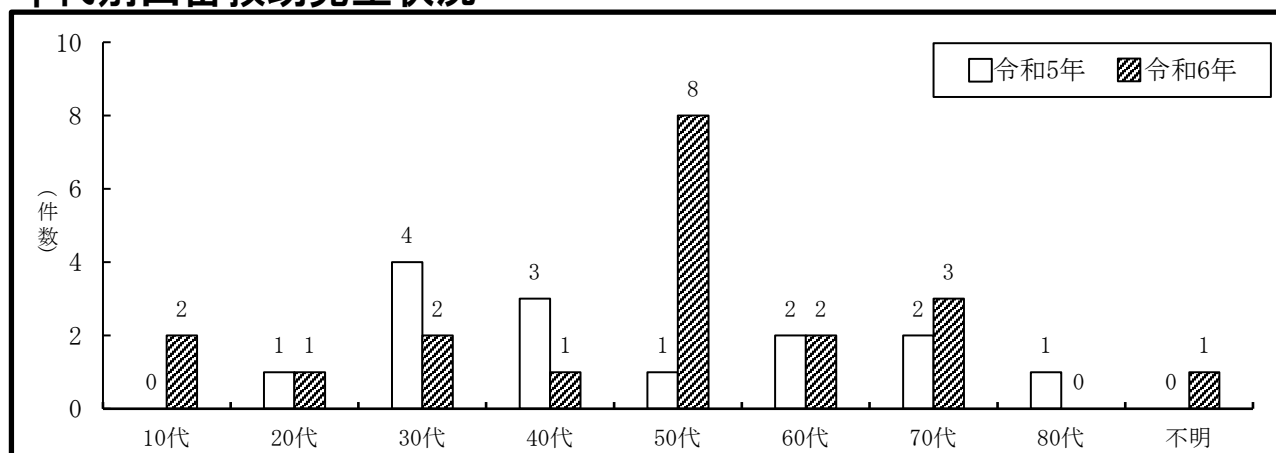
過去5年間の山岳救助事案発生状況



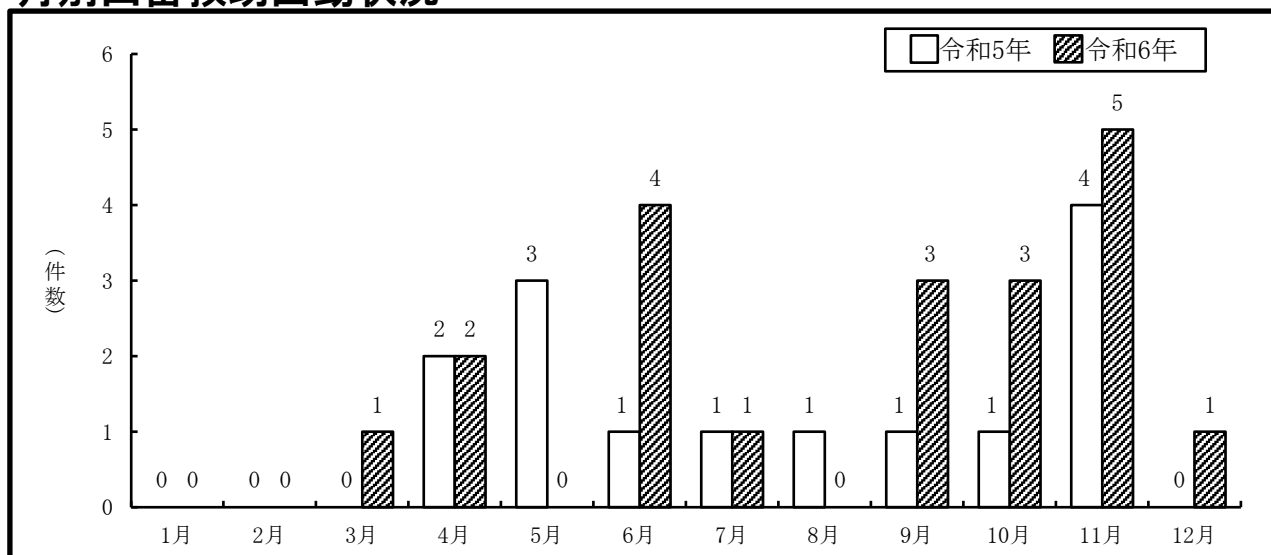
山岳救助発生場所



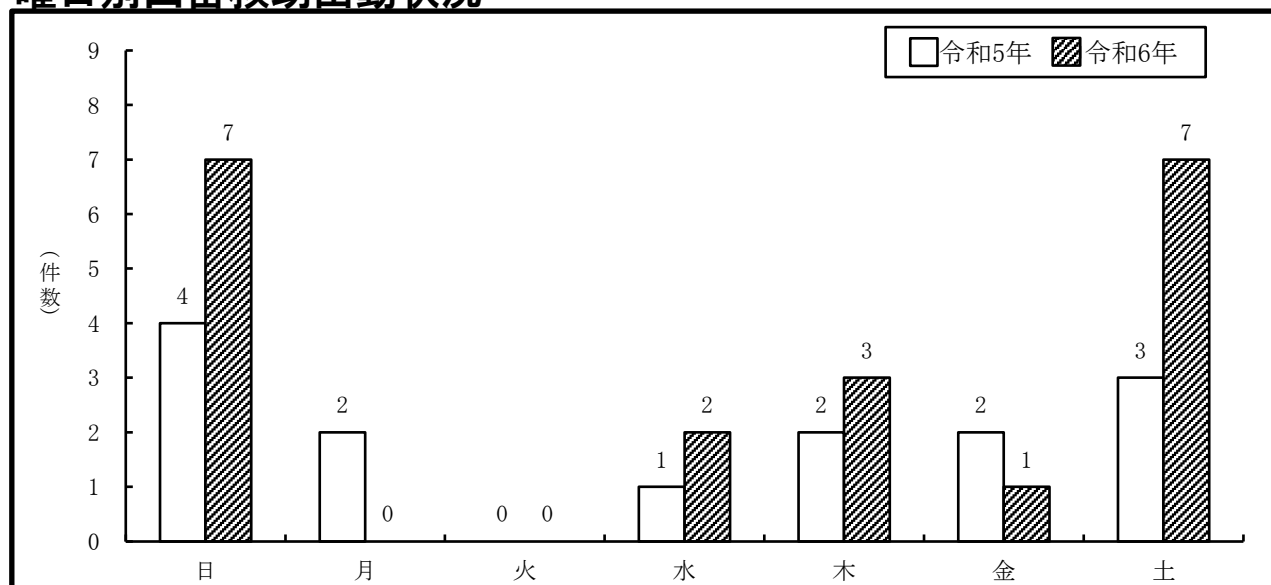
年代別山岳救助発生状況



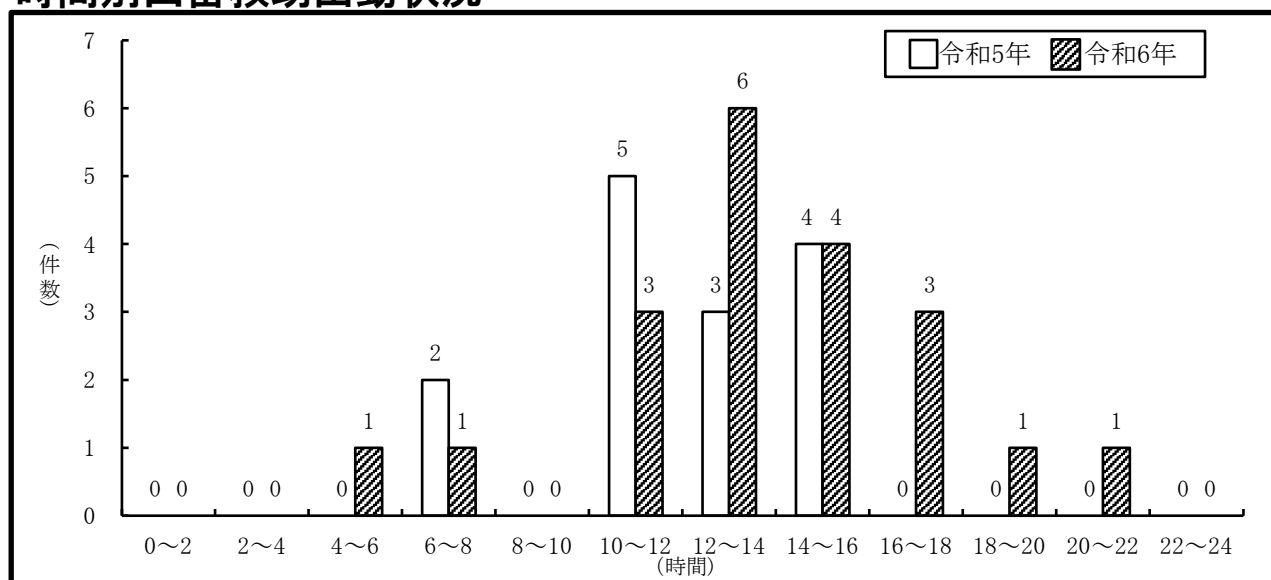
月別山岳救助出動状況



曜日別山岳救助出動状況



時間別山岳救助出動状況



気象・通信



大雨や台風による洪水などの水害から被害を最小限に食い止めるために、町民や事業所、消防団、町職員などの関係機関が毎年水防訓練を実施しています。土のう作成や水防工法などを実践的に学び、地域住民の生命や財産を守るための技術を習得します。

水防訓練

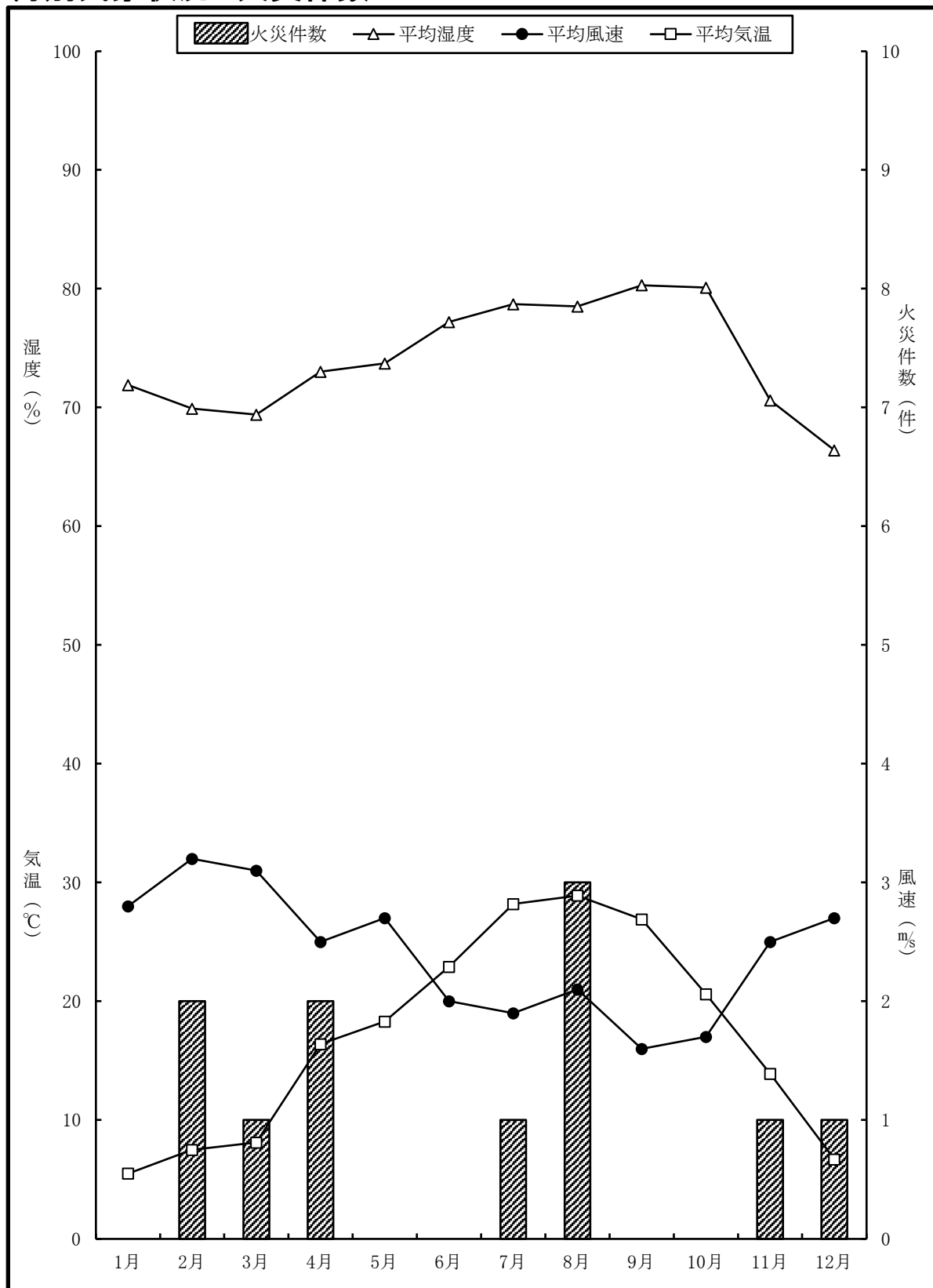
令和6年5月19日

於：三滝川河川敷

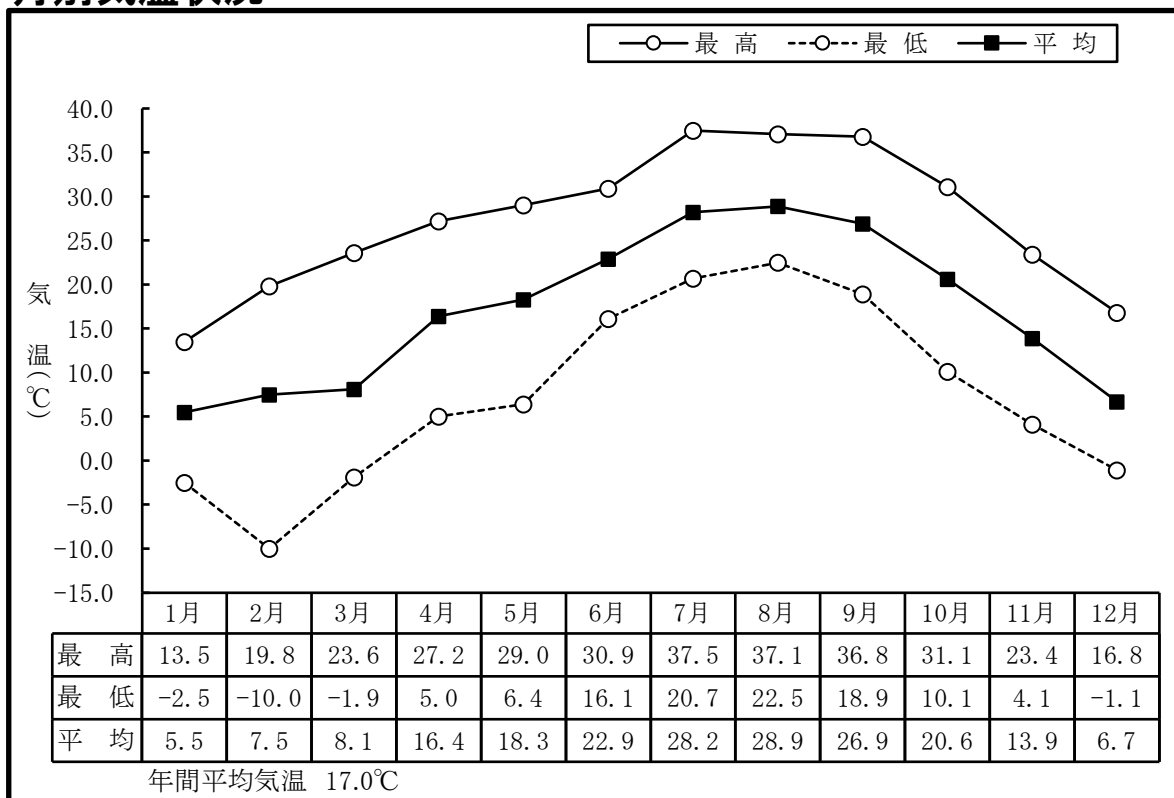
気 象

気象観測システムによる自動定時観測（風速、気温、湿度、降水量等）を行っています。また台風、豪雨や警報発表時には定時以外においても必要に応じた観測体制をとっています。

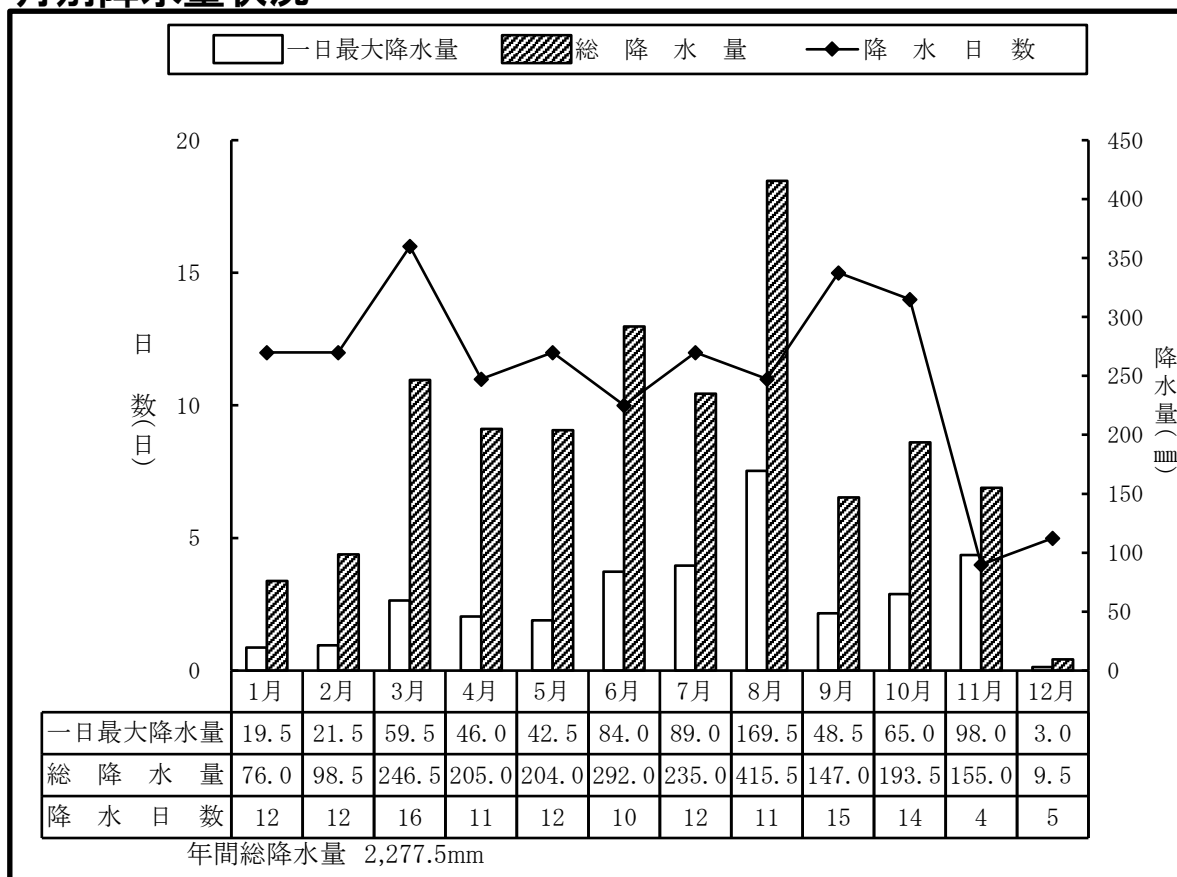
月別気象状況と火災件数



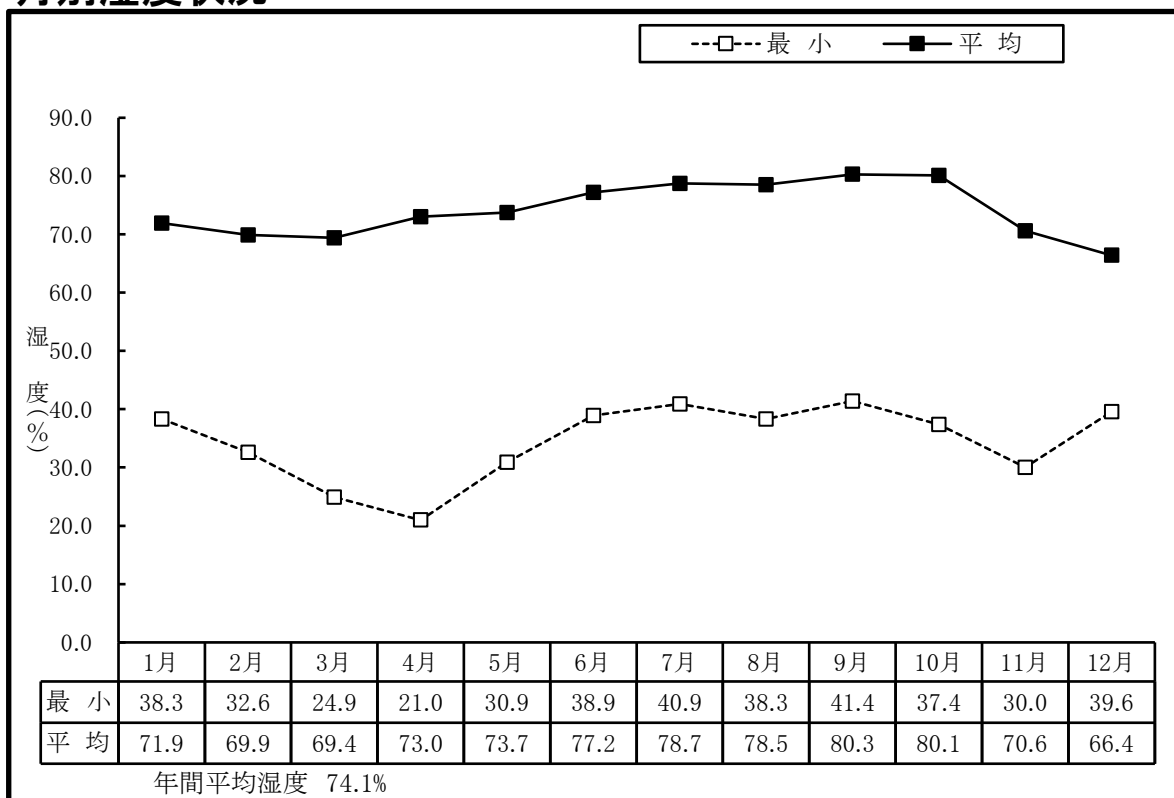
月別気温状況



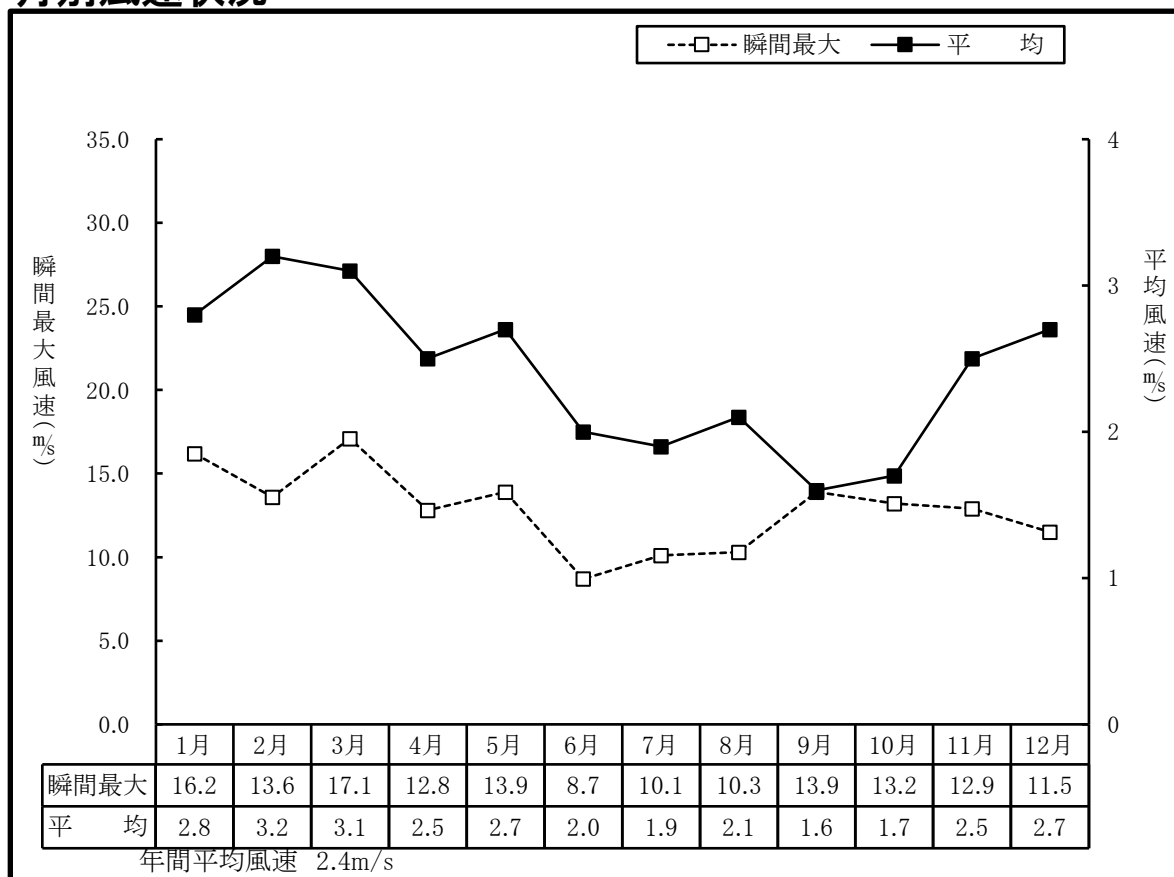
月別降水量状況



月別湿度状況



月別風速状況



気象通報受信状況

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
気象通報														
特別警報	暴風特別警報													
	暴風雪特別警報													
	大雨特別警報													
	大雪特別警報													
警報	暴風警報													
	暴風雪警報													
	大雨警報								2					2
	大雪警報	1												1
	洪水警報													
注意報	風雪注意報													
	強風注意報	2		3	1	1			1					8
	大雨注意報					1	3	2	3	2				11
	大雪注意報	3											1	4
	洪水注意報								1					1
	着雪注意報	1												1
	乾燥注意報			3										3
	濃霧注意報		1	3	1		1	2			1			9
	霜注意報			18	1									19
	なだれ注意報													
	融雪注意報													
	低温注意報	4												4
	着氷注意報													
	雷注意報	3	3	6	4	4	6	8	6	11	8	2	1	62
竜巻注意情報				3	2		1	10	2			4		22
熱中症警戒アラート								40	43	14				97
火災気象通報		3		8	1				1	1				14
三重県気象情報	雷と突風に関する情報	3	3	1			4	22	8	4	12	6		63
	雷と突風及び降ひょうに関する情報				3	4	4							11
	大雨に関する情報				2	11	5	2		5				25
	大雨と雷及び突風に関する情報					2	3	3	2	3	3			16
	台風第10号に関する情報								23	3				26
	雪に関する情報												1	1
	大雪に関する情報	7												7
	顕著な大雨に関する情報								1					1
	強風に関する情報		2	2										4
	強風と雷に関する情報			5										5
	黄砂に関する情報			1	3									4
記録的短時間大雨情報														
土砂災害警戒情報														
早期注意情報		105	101	109	100	103	99	99	106	100	96	109	103	1,230

注1) 同一種類の警報・注意報を継続する場合に発表された警報・注意報は回数に含めない。

注2) 竜巻注意情報は、三重県北中部を対象に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。

注3) 高温注意情報は2021年度から熱中症警戒アラートとして発表。

注4) 火災気象通報は、三重県北部を対象に発表された回数を示す。

注5) 土砂災害警戒情報は、菰野町に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。

注6) 早期注意情報は三重県北中部に発表された回数を示す。

通信指令

菰野町と四日市市、桑名市の3消防本部は、平成28年4月1日から 四日市市、桑名市及び三重郡菰野町消防通信指令事務協議会を設置して、四日市市消防本部中消防署中央分署内に三重北消防指令センターを整備し、消防通信指令事務の共同運用を行っています。

三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況

種別 消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
菰野町	11	1,714	33	23	1	208	170	169	7	2,336
四日市市	119	16,917 【1】	136	279	22	2,474	1,723	1,762	182	23,614 【1】
桑名市	160	11,041	77	146	5	1,470	1,091	1,008	82	15,080
合計	290	29,671 【1】	246	448	28	4,152	2,984	2,939	271	41,030 【1】

※【 】はFAX119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況

種別 月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
1		155				23	8	10	1	197
2		148	1	1	1	14	9	12	1	187
3		141		2		19	21	14		197
4	1	107	3			22	9	7		149
5		125	2	3		20	17	23		190
6		118	2	2		13	9	8		152
7	1	182	4	1		22	12	16	2	240
8	7	150	4	1		13	8	17		200
9		140	3	4		22	26	13	1	209
10		126	3			12	22	20	1	184
11	1	142	10	6		11	15	18		203
12	1	180	1	3		17	14	11	1	228
合計	11	1,714	33	23	1	208	170	169	7	2,336

※【 】はFAX119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況

種別 回線	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
119	固定	1	177		8	1	18	125	9	339
	I P		469	2	1		19	29	32	552
	携帯	10	1,068	31	14		171	16	128	1,445
	FAX									
Net 119										
合計	11	1,714	33	23	1	208	170	169	7	2,336

通報は重複通報含む。

令和7年版
消 防 年 報
(40周年記念号)

発 行 日 令和7年8月

編集・発行 菰野町消防本部

〒510-1253

三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地

電話 (059) 394-3211

FAX (059) 394-5766

E-mail komonofd@m3.cty-net.ne.jp